

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014 年 12 月 18 日(18.12.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/199520 A1

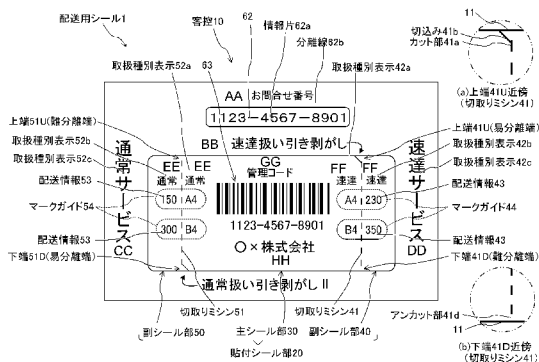
- (51) 国際特許分類:
G09F 3/02 (2006.01) **G09F 3/10** (2006.01)
G09F 3/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/066510
- (22) 国際出願日: 2013 年 6 月 14 日(14.06.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 大日本印刷株式会社(DAI NIPPON PRINTING CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1628001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目 1 番 1 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 佐藤 潤(SATO, Jun); 〒1628001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目 1 番 1 号 大日本印刷株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 正林 真之, 外(SHOBAYASHI, Masayuki et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー Tokyo (JP).

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI

[続葉有]

(54) Title: DELIVERY STICKER, DELIVERY STICKER USE METHOD, IDENTIFICATION STICKER, AND IDENTIFICATION STICKER USE METHOD

(54) 発明の名称: 配送用シール、配送用シールの使用方法、識別シール、識別シールの使用方法



- 1 Delivery sticker
10 Customer receipt
20 Attachment sticker section
30 Main s/ section
40, 50 Sub-s/ section
41, 51 Tear-off perforations
41a Cut section
41b Slit
41d Uncut section
41D Bottom end (hard to separate end)
41U Upper end (easy to separate end)
42a, 42b, 42c, 52a, 52b, 52c Type-of-handling indication
43, 53 Delivery information
44, 54 Mark guide
51U Upper end (hard to separate end)
51D Bottom end (easy to separate end)
62a Piece of information
62b Separation line
(a) Near upper end 41U (tear-off perforation 41)
(b) Near bottom end 41D (tear-off perforation 41)
AA Contact phone number
BB Express delivery peel-off
CC Normal service
DD Express service
EE Normal delivery
FF Express delivery
GG Management code
HH Co. Ltd.
II Normal delivery peel-off

(57) Abstract: Provided are the following: a delivery sticker that while only being a single sticker can be used for various purposes; a delivery sticker use method; an identification sticker; and an identification sticker use method. The delivery sticker is configured as follows: a rectangular attachment sticker section to be attached to a delivery article is formed on a paper substrate; two tear-off perforations are formed on the attachment sticker section and are for dividing, parallel to the short sides of the attachment sticker section, a main sticker section and sub-sticker sections on both sides of the main sticker section; the tear-off perforations are both formed so as to penetrate the paper substrate; on the paper substrate viewable-surface of the main sticker section, a management code is printed so as to be machine readable; on outside of the attachment sticker section and on the paper substrate viewable-surface of the delivery sticker, contact information is printed so as to be visible; the main sticker section and one sub-sticker section are divided at one of the tear-off perforations; and when the main sticker section is peeled off from a peel-off substrate, the other sub-sticker section is removed in connection with the main sticker section, and the remainder of the delivery sticker becomes the customer receipt.

(57) 要約:

[続葉有]



(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, 添付公開書類:
MR, NE, SN, TD, TG).

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

1つのシールであっても複数の種別に対応して使用することができる配送用シール、配送用シールの使用方法、識別シール、識別シールの使用方法を提供する。 配送用シールは、紙基材には配送物に貼付される矩形状の貼付シール部が、貼付シール部には貼付シール部の短辺に平行で主シール部とその両脇の副シール部に分断する二本の切取りミシンが、何れも紙基材を貫通する状態で形成され、主シール部の紙基材表出面には管理コードが機械読み取り可能に印刷され、貼付シール部の外側で且つ配送用シールの紙基材表出面には問い合わせ情報が目視可能に印刷され、一方の切取りミシンで主シール部と副シール部を分断し、主シール部を剥離基材から引き剥がしたときに、他方の副シール部が主シール部に接続して剥がされ、残った配送用シールは客控となる。

明 細 書

発明の名称：

配送用シール、配送用シールの使用方法、識別シール、識別シールの使用方法

技術分野

[0001] 本発明は、配送用シール、配送用シールの使用方法、識別シール、識別シールの使用方法に関するものである。

背景技術

[0002] 近年、被着体である冊子状の印刷物その他の軽量物を対象とする「メール便」と呼ばれる宅配サービスが多く利用されている。

この「メール便」は、配送業者が送り主から配送物を預かり、集荷した配送物を配達地域別に仕分けして発送し、受取人の郵便受け等に配送物を投函して配送を完了するもので、配送物が投函可能な大きさのものに制限されている。

このサービスでは、従来から実施されている宅配便と異なり、配送物を受取人に渡す際に受領印や、サインを貰う、いわゆる判取りは行わない。

[0003] 通常の宅配システムでは、伝票に記載された番号で配送物の配送状況を管理しているが、「メール便」でも、管理番号のみが表示されたラベルを配送伝票とともに配送物に貼付し、配送状況の管理に使用している。

そこで、配送物に届け先（受取人）の住所のみを記載し、併せて機械読取り用のコードだけが印刷されたラベルを貼付する配送システムが提供されている。

このシステムにおいて、受取人の確認は前述の機械読取り用のコードを携帯端末で読取ることによって、コードに紐つけされた受取人名を携帯端末の表示部に表示させて確認するというものである（例えば、特許文献1参照）。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2001-272914号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] また、近年では、通常条件で送付される通常メール便のほかに、速達扱いの速達メール便等、複数の種別が出現している。

そこで本発明は、1つのシールであっても複数の種別に対応して使用することができる配送用シール、配送用シールの使用方法、識別シール、識別シールの使用方法を提供することを目的とするものである。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明は、以下のような解決手段により、課題を解決する。なお、理解を容易にするために、本発明の実施形態に対応する符号を付して説明するが、これに限定されるものではない。また、符号を付して説明した構成は、適宜改良してもよく、また、少なくとも一部を他の構成物に代替してもよい。

[0007] ・第1の発明は、

剥離基材の剥離処理面上に粘着剤層を介して紙基材が貼り合わされた積層体からなり、前記紙基材表出面に表示された取扱種別表示及び配送情報を選択することによって速達、通常何れにも使用することが可能な配送用シールであって、

前記紙基材には配送物に貼付される矩形状の貼付シール部が前記紙基材を貫通する貼付シール部周縁切込みにによって形成され、

前記貼付シール部には主シール部とその両脇の副シール部に分断する二本の切取りミシンが貼付シール部の短辺に平行に、かつ、紙基材を貫通する状態で形成され、

前記主シール部の紙基材表出面には管理コードが機械読み取り可能に印刷され、貼付シール部の外側で、かつ、配送用シールの紙基材表出面には問い合わせ情報が目視可能に印刷され、

一方の切取りミシンで主シール部と副シール部を分断し、主シール部を剥離基材から引き剥がしたときに、他方の副シール部が主シール部に接続して剥がされ、貼付シール部が剥がされた配送用シールは客控となること

を特徴とする配送用シールである。

・第2の発明は、第1の発明の配送用シールにおいて、

一方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、速達取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、通常の取扱種別表示が印刷によって表示され、

配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドが前記それぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていること

を特徴とする配送用シールである。

・第3の発明は、第1の発明の配送用シールにおいて、

貼付シール部周縁切込みの一方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面には、速達取扱種別表示が印刷によって表示され、

他方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面には、通常の取扱種別表示が印刷によって表示され、配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドが前記それぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていること

を特徴とする配送用シールである。

[0008] ・第4の発明は、

剥離層を備える剥離基材と、前記剥離基材上に粘着層及び基材を備えるシール層とが積層された識別シールで（1，1-1，1-2，1-3，201，301，401，501）あって、

周辺シール部（10）と、

前記シール層により形成され、前記基材を貫通する貼付シール部周縁切込み（11，411，511）によって、前記周辺シール部から分離して剥離基材から剥離可能に形成された貼付シール部（20，20-1，220，320，420，520）とを備え、

前記貼付シール部は、

主シール部（３０，３０－１，２３０，３３０，４３０，５３０）と、

第１分離線（４１，４１－２，４１－３，２４１，３４１，４４１，５４１）を介して前記主シール部に連設された第１副シール部（４０，４０－１，２４０，３４０，４４０，５４０）と、

第２分離線（５１，５１－２，５１－３，２５１，３５１，４５１，５５１）を介して前記主シール部に連設された第２副シール部（５０，５０－１，２５０，３５０，４５０，５５０）とを備え、

前記第２分離線で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部及び前記第１副シール部が一体で剥離する態様と、前記第１分離線で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部及び前記第２副シール部が一体で剥離する態様とが選択可能であること、

を特徴とする識別シールである。

・第５の発明は、第４の発明の識別シールにおいて、

前記第１副シール部（４０－１，２４０，３４０，４４０，５４０）は、第１副シール部識別情報（４２ｂ－１）を備え、

前記第２副シール部（５０－１，２５０，３５０，４５０，５５０）は、第２副シール部識別情報（５２ｂ－１）を備えること、

を特徴とする識別シールである。

・第６の発明は、第５の発明の識別シールにおいて、

前記周辺シール部（１０）及び前記第１副シール部（４０－１，２４０，３４０，４４０，５４０）に設けられ、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置された第１細識別情報（４３－１）と、

前記周辺シール部及び前記第２副シール部（５０－１，２５０，３５０，４５０，５５０）に設けられ、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置された第２細識別情報（５３－１）とを備えること、

を特徴とする識別シールである。

・第７の発明は、第４の発明の識別シールにおいて、

前記主シール部（３０）は、

前記第１分離線（４１，４１－２，４１－３）側に主シール部第１識別情報（４２ａ）を備え、

前記第２分離線（５１，５１－２，５１－３）側に主シール部第２識別情報（５２ａ）を備えること、

を特徴とする識別シールである。

・第８の発明は、第７の発明の識別シールにおいて、

前記主シール部（３０）及び前記第１副シール部（４０）に設けられ、前記第１分離線（４１，４１－２，４１－３）を跨ぐように配置された第１細識別情報（４３）と、

前記主シール部及び前記第２副シール部（５０）に設けられ、前記第２分離線（５１，５１－２，５１－３）を跨ぐように配置された第２細識別情報（５３）と

を備えること、を特徴とする識別シールである。

・第９の発明は、第６又は第８の発明の識別シールにおいて、

前記第１細識別情報（４３，４３－１）及び前記第２細識別情報（５３，５３－１）は、それぞれ複数の種類が設けられていること、

を特徴とする識別シールである。

・第１０の発明は、第６、第８又は第９の発明の識別シールにおいて、

前記各第１細識別情報（４３，４３－１）及び前記各第２細識別情報（５３，５３－１）の周囲全周又は周囲一部に、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置されたマークガイド（４４，５４）を備えること、

を特徴とする識別シールである。

・第１１の発明は、第４から第１０のいずれかの発明の識別シールにおいて、

前記主シール部（３０，３０－１，２３０，３３０，４３０，５３０）、前記周辺シール部（１０）にそれぞれ設けられた管理情報（６２，６３）を備えること、

を特徴とする識別シールである。

- ・第12の発明は、第4から第11のいずれかの発明の識別シールにおいて、

前記識別シールは、配送用シール（1，1-1，1-2，1-3，201，301，401，501）であり、

前記貼付シール部（20）は、配送物（70）である被着体に再貼付され、

前記周辺シール部（10）は、配送元の控えであること、
を特徴とする識別シールである。

- ・第13の発明は、第12の発明の識別シールにおいて、

前記周辺シール部（10）の前記管理情報（62）が設けられた部分（62a）は、

分離線（62b）により前記周辺シール部から分離可能であり、

発送元の控え片に再貼付可能であること、

を特徴とする識別シールである。

- [0009] ・第14の発明は、第4から第13のいずれかの発明の識別シールの使用方法であって、

前記貼付シール部（20，20-1，220，320，420，520）を、前記第2分離線（51，51-2，51-3，251，351，451，551）で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部（30，30-1，230，330，430，530）及び前記第1副シール部（40，40-1，240，340，440，540）が一体で剥離する態様と、前記第1分離線（41，41-2，41-3，241，341，441，541）で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部及び前記第2副シール部（50，50-1，250，350，450，550）が一体で剥離する態様とを選択する工程と、

剥離した前記貼付シール部を、被着体に再貼付する工程とを備えること、
を特徴とする識別シールの使用方法である。

[0010] ・第１５の発明は、

剥離層を備える剥離基材と、前記剥離基材上に粘着層及び基材を備えるシール層とが積層された識別シールであって、

周辺シール部（１０）と、

前記シール層により形成され、前記基材を貫通する貼付シール部周縁切込み（１１，４１１，５１１）によって、前記周辺シール部から分離して剥離基材から剥離可能に形成された貼付シール部（２０，２０－１，２２０，３２０，４２０，５２０，６２０）とを備え、

前記貼付シール部は、

主シール部（３０，３０－１，２３０，３３０，４３０，５３０，６３０）と、

一端が易分離端（４１Ｕ，２４１Ｕ，３４１Ｕ，４４１Ｕ，５４１Ｕ，６４１Ｕ）であり他端が難分離端（４１Ｄ，２４１Ｄ，３４１Ｄ，４４１Ｄ，５４１Ｄ，６４１Ｄ）である第１分離線（４１，４１－２，４１－３，２４１，３４１，４４１，５４１，６４１）を介して、前記主シール部に連設された第１副シール部（４１，４１－２，４１－３，２４１，３４１，４４１，５４１，６４１）とを備え、

前記易分離端側から剥離することにより、前記主シール部と前記第１副シール部とを前記第１分離線で分離して、前記主シール部を前記剥離基材から剥離し、

前記難分離端側から剥離することにより前記主シール部及び前記第１副シール部を一体で前記剥離基材から剥離すること、

を特徴とする識別シールである。

・第１６の発明は、第１５の発明の識別シールにおいて、

前記第１分離線（４１，４１－２，４１－３，２４１，３４１，４４１，５４１，６４１）は、

前記易分離端（４１Ｕ，２４１Ｕ，３４１Ｕ，４４１Ｕ，５４１Ｕ，６４１Ｕ）が貼付シール部周縁切込み（１１，４１１，５１１）に連続してお

り、

前記難分離端（４１Ｄ，２４１Ｄ，３４１Ｄ，４４１Ｄ，５４１Ｄ，６４１Ｄ）が貼付シール部周縁切込み（１１，４１１，５１１）に不連続であること、

を特徴とする識別シールである。

・第１７の発明は、第１５又は第１６の発明の識別シールにおいて、

前記貼付シール部（２０，２０－１，２２０，３２０，４２０，５２０）は、

前記第１副シール部に加えて、第２分離線（５１，５１－２，５１－３，２５１，３５１，４５１，５５１）を介して前記主シール部（３０，３０－１，２３０，３３０，４３０，５３０）に連設された第２副シール部（５０，５０－１，２５０，３５０，４５０，５５０）を備え、

前記第２分離線は、

前記第１分離線の前記易分離端（４１Ｕ，２４１Ｕ，３４１Ｕ，４４１Ｕ，５４１Ｕ，６４１Ｕ）側が、難分離端（５１Ｕ，２５１Ｕ，３５１Ｕ，４５１Ｕ，５５１Ｕ）であり、

前記第１分離線の前記難分離端（４１Ｄ，２４１Ｄ，３４１Ｄ，４４１Ｄ，５４１Ｄ，６４１Ｄ）側が、易分離端（５１Ｄ，２５１Ｄ，３５１Ｄ，４５１Ｄ，５５１Ｄ）であり、

前記貼付シール部（２０，２０－１，２２０，３２０，４２０，５２０）は、

前記主シール部及び前記第１副シール部と、前記第２副シール部とを前記第２分離線で分離して、前記主シール部及び前記第１副シール部を前記剥離基材から剥離し、

前記主シール部及び前記第２副シール部と、前記第１副シール部とを前記第１分離線で分離して、前記主シール部及び前記第２副シール部を前記剥離基材から剥離すること、

を特徴とする識別シールである。

・第18の発明は、第17の発明の識別シールにおいて、
前記貼付シール部（20，20-1，220，320，420，520）
は、

一辺側に前記第1分離線（41，41-2，41-3，241，341，
441，541）の易分離端（41U，241U，341U，441U，
541U）と、前記第2分離線（51，51-2，51-3，251，351，
451，551）の難分離端（51U，251U，351U，451U，
551U）とが配置され、

前記一辺側に対向する他辺側に前記第1分離線の難分離端（41D，241D，341D，441D，541D）と、前記第2分離線の易分離端（51D，251D，351D，451D，551D）とが配置され、

前記他辺側から剥離することにより、前記主シール部及び前記第1副シール部と、前記第2副シール部とを、前記第2分離線の易分離端から分離して、前記主シール部及び前記第1副シール部を前記剥離基材から剥離し、

前記一辺側から剥離することにより、前記主シール部及び前記第2副シール部と、前記第1副シール部とを、前記第1分離線の易分離端から分離して、前記主シール部及び前記第2副シール部を前記剥離基材から剥離すること、

を特徴とする識別シールである。

・第19の発明は、第18の発明の識別シールにおいて、
前記貼付シール部（420，520）は、

前記主シール部の前記他辺側を前記一辺側に向けて剥離するか、前記一辺側から前記他辺側に向けて剥離するか、を選択できるものであり、

前記貼付シール部周縁切込み（411，511）のうち前記第1副シール部（441，541）及び前記周辺シール部（10）間の境界（411a）
は、

前記主シール部の前記他辺側を前記一辺側に向けて剥離する状態で、前記第1副シール部及び前記周辺シール部間の境界の分離強度を、前記第2分

離線（４５１，５５１）の分離強度と同等に調整する第１調整切込み（４１１ａ）であり、

前記貼付シール部周縁切込みのうち前記第２副シール部（４５０，５５０）及び前記周辺シール部（１０）間の境界（４１１ｂ）は、

前記主シール部の前記一辺側を前記他辺側に向けて剥離する状態で、前記第２副シール部及び前記周辺シール部間の境界の分離強度を、前記第１分離線（４４１，５４１）の分離強度と同等に調整する第２調整切込み（４１１ｂ）であること、

を特徴とする識別シールである。

発明の効果

[0011] 本発明によれば、１つのシールであっても、複数の種別に対応して使用することができる配送用シール及びその使用方法を提供できる。

また、本発明は、被着体の識別に好適な識別シール、識別シールの使用方法を提供できる。

図面の簡単な説明

[0012] [図１]本発明の配送用シールの第１実施形態について説明するための図である。

[図２]第１実施形態の配送用シールの使用方法の一例について説明するための図である。

[図３]第１実施形態の速達メール便に使用される客控の一例について説明するための図である。

[図４]第１実施形態の図３から剥がされた貼付シール部の一例について説明するための図である。

[図５]第１実施形態の配送用シールの他の形態について説明するための図である。

[図６]第１実施形態の速達メール便に使用される客控の他の一例について説明するための図である。

[図７]第１実施形態の図５から剥がされた貼付シール部の一例について説明す

るための図である。

[図8]第1実施形態の切取りミシンの変形例を示す図である。

[図9]第1実施形態の切取りミシンの他の変形例を示す図である。

[図10]第1実施形態の貼付シール部が貼付された配送物の一例について説明するための図である。

[図11]第2実施形態の配送用シール201を説明する図である。

[図12]第2実施形態の貼付シール部220の剥離方法を説明する図である。

[図13]第2実施形態の貼付シール部220の剥離方法を説明する図である。

[図14]第3実施形態の配送用シール301を説明する図である。

[図15]第4実施形態の配送用シール401を説明する図である。

[図16]第4実施形態の貼付シール部420の剥離方法を説明する図である。

[図17]第5実施形態の配送用シール501を説明する図である。

[図18]第6実施形態の配送用シール601を説明する図である。

[図19]第6実施形態の貼付シール部620の「速達」選択時の使用方法を説明するである。

[図20]第6実施形態の貼付シール部620の「通常」選択時の使用方法を説明するである。

発明を実施するための形態

[0013] 以下、図面等を参照して、本発明の実施形態について説明する。

(第1実施形態)

図1は、第1実施形態の配送用シールの一実施形態について説明するための図である。

図1aの二点鎖線内は、切取りミシン41の上端41U近傍を拡大して示す図である。

図1bの二点鎖線内は、切取りミシン41の下端41D近傍を拡大して示す図である。

図1において、本実施形態の配送用シール1は図示しないが、積層構造（積層体）になっており、剥離基材の片面に粘着剤層を伴った紙基材が貼り合

わされている。

剥離基材の片面には、剥離層が設けられている。つまり、剥離基材の粘着剤と接する面には剥離処理が施されており、紙基材が容易に剥離基材から剥がせるようになっている。

[0014] 配送用シール 1 は、紙基材表出面に印刷された取扱種別情報、配送情報を選択することによって速達、通常何れにも使用することができるようになっている。

本実施形態の以下の説明では、配送物が「速達」で取り扱われる例で説明する。

紙基材側には、配送物に貼付される矩形状の貼付シール部 20 が前述の紙基材を貫通する貼付シール部周縁切込み 11（貼付シール部周縁切込み）によって形成されている。

貼付シール部 20 には、主シール部 30 とその両脇の副シール部 40, 50 に分断する二本の切取りミシン 41, 51（第 1 分離線、第 2 分離線）が、紙基材を貫通する状態で貼付シール部 20 の短辺に平行に形成されている。

本実施形態の配送用シール 1 は、剥離基材と紙基材が薄い粘着剤層によって貼り合わされており、前述の紙基材を貫通する貼付シール部周縁切込み 11 及び切取りミシン 41, 51 は、多くの場合、薄い粘着剤層をも貫通する状態で形成されている。

後述するように、一方の切取りミシン 41, 51 で主シール部 30 と副シール部 40, 50 を分断し、主シール部 30 を剥離基材から引き剥がしたときに、他方の副シール部 40, 50 が主シール部 30 に接続して剥がれるようになっている。

[0015] また、主シール部 30 の紙基材表出面には管理コード 63 が機械読み取り可能に印刷され、貼付シール部 20 の外側、配送用シール 1 の紙基材表出面には問合せ情報 62 が目視可能に印刷されている。

上記問合せ情報 62 は、数字、アルファベット、記号、仮名、又はこれら

の組合せで構成される。以下の説明では、問合せ情報 6 2 は、数字だけで構成された「問合せ番号」の例で説明する。

[0016] また、貼付シール部周縁切込み 1 1 の外側、客控 1 0 となる配送用シールの表出面には、「速達扱引き剥がし」や、「通常扱引き剥がし」などの文言、「速達サービス」や、「通常サービス」などの取扱種別表示（以下、本実施形態の説明では、取扱種別表示を文字で表示する例で説明する）が印刷によって表示されている。

また、貼付シール部 2 0 の切取りミシン 4 1, 5 1 の近傍の紙基材表出面（図 1 の切取りミシン 4 1, 5 1 の左右）には、前述の取扱種別表示「速達」、「通常」の文字や、配送情報 4 3, 5 3 である「A 4 2 3 0」、「B 4 3 5 0」などの文字、配送情報 4 3, 5 3 を囲むマークガイド 4 4, 5 4 が印刷されている。配送情報 4 3, 5 3 や、マークガイド 4 4, 5 4 は、何れも切取りミシン 4 1, 5 1 を跨ぐように印刷されている。

[0017] すなわち、配送用シール 1 の構成は、以下の通りである。

配送用シール 1 は、剥離基材上にシール層が積層されて構成されている。

剥離基材は、上面に剥離層が積層されている。

シール層は、紙基材の下面に接着剤層が積層されている。この接着剤層の粘着剤は、再貼付可能な種類である。

[0018] 剥離基材及びシール層は、貼付シール部周縁切込み 1 1 によって、客控 1 0（周辺シール部）と、貼付シール部 2 0 とに分断されている。

貼付シール部周縁切込み 1 1 の断面形状は、シール層を貫通して、剥離基材の上部まで達している（図示は省略する）。これは、貼付シール部周縁切込み 1 1 が粘着剤層を完全に貫通することにより、貼付シール部 2 0 が剥離基材から剥離しやすくなるためである。

[0019] 貼付シール部 2 0 は、シール層により形成され、剥離基材から剥離して、客控 1 0 から分離可能に形成されている。貼付シール部 2 0 の外形は、左右方向に長い長方形である。

貼付シール部 2 0 は、主シール部 3 0、副シール部 4 0（第 1 副シール部

）、副シール部 5 0（第 2 副シール部）を備える。

主シール部 3 0 は、貼付シール部 2 0 の中央の部分である。

[0020] 副シール部 4 0 は、切取りミシン 4 1（第 1 分離線）を介して主シール部 3 0 の右側に連設されている。

切取りミシン 4 1 は、貼付シール部 2 0 の右側の領域に配置されている。

切取りミシン 4 1 は、縦方向に平行であり、貼付シール部 2 0 の上辺及び下辺間を結ぶような線である。

切取りミシン 4 1 のカット部の断面形状は、貼付シール部周縁切込み 1 1 と同様に、シール層を貫通して、剥離基材の上部まで達しており、副シール部 4 0 が剥離しやすくなっている（図示は省略する）。

[0021] 図 1 a の二点鎖線内に示すように、切取りミシン 4 1 の上端 4 1 U（一端）は、易分離端である。すなわち、切取りミシン 4 1 の上端 4 1 U に配置された切込み 4 1 b は、切取りミシン 4 1 の上端のカット部 4 1 a と、貼付シール部周縁切込み 1 1 の上辺とを、斜めに接続する。このため、カット部 4 1 a は、切込み 4 1 b を介して、貼付シール部周縁切込み 1 1 に連続している。

これにより、主シール部 3 0 及び副シール部 4 0 は、切取りミシン 4 1 の上端 4 1 U の切込み 4 1 b をきっかけにして分離しやすい。

[0022] 一方、図 1 b の二点鎖線内に示すように、切取りミシン 4 1 の下端 4 1 D（他端）は、難分離端である。すなわち、切取りミシン 4 1 の下端 4 1 D は、アンカット部 4 1 d であり、貼付シール部周縁切込み 1 1 に不連続である。

このため、主シール部 3 0 及び副シール部 4 0 は、切取りミシン 4 1 の下端 4 1 D では、上端 4 1 U よりも分離しにくく、切取りミシン 4 1 では分離しない。

貼付シール部 2 0 を剥離する場合の切取りミシン 4 1 の作用については、後述する。

[0023] 取扱種別表示 4 2 a（主シール部第 1 識別情報）は、主シール部 3 0 内の

右側（切取りミシン４１側）の領域であって、切取りミシン４１の近傍に配置されている。取扱種別表示４２ａは、「速達」の文字が視認可能に印刷されたものである。

副シール部４０には、取扱種別表示４２ａに対応して、「速達」の文字が印刷された取扱種別表示４２ｂが設けられている。

また、客控１０内の右側（副シール部４０側）の領域には、取扱種別表示４２ａに対応して、「速達サービス」の文字が印刷された取扱種別表示４２ｃが設けられている。

[0024] 配送情報４３（第１細識別情報）は、主シール部３０内の右側の領域と、副シール部４０とに連続するように設けられており、切取りミシン４１を跨ぐように配置されている。

配送情報４３は、「Ａ４ ２３０」、「Ｂ４ ３５０」の２種類が設けられており、配送物の大きさ、配送料金の情報が印刷されている。つまり、配送情報４３は、取扱種別「速達」を、さらに詳細に識別するための情報である。

マークガイド４４は、配送情報４３の周囲全周に、切取りミシン４１を跨ぐように配置されている。

なお、マークガイド４４は、配送情報４３の周囲一部に設けてもよい。この場合には、例えば、括弧の記号等を、配送情報４３の左側及び右側に設ければよい。

[0025] 副シール部５０は、切取りミシン４１と同様な、切取りミシン５１（第２分離線）を介して主シール部３０の左側に連設されている。

副シール部５０及び切取りミシン５１の外形は、主シール部３０の中心を対称の中心として、副シール部４０及び切取りミシン４１と点対称である。このため、切取りミシン５１の易分離端、難分離端の配置は、切取りミシン４１とは上下反対になる。

そのため、貼付シール部２０の上辺側（一辺側）には、切取りミシン４１の上端４１Ｕである易分離端が配置され、かつ、切取りミシン５１の上端５

１Ｕである難分離端が配置される。

一方、貼付シール部２０の下辺側（他辺側）には、切取りミシン４１の下端４１Ｄである難分離端され、かつ、切取りミシン５１の下端５１Ｄである易分離端が配置される。

貼付シール部２０を剥離する場合の切取りミシン５１の作用については、後述する。

[0026] 取扱種別表示５２ａ（主シール部第２識別情報）は、主シール部３０内の左側（切取りミシン５１側）の領域であって、切取りミシン５１の近傍に配置されている。取扱種別表示５２ａは、「通常」の文字が視認可能に印刷されたものである。

副シール部５０には、取扱種別表示５２ａに対応して、「通常」の文字が印刷された取扱種別表示５２ｂが設けられている。

また、客控１０内の左側（副シール部５０側）の領域には、取扱種別表示５２ａに対応して、「通常サービス」の文字が印刷された取扱種別表示５２ｃが設けられている。

[0027] 配送情報５３（第２細識別情報）は、主シール部３０内の左側の領域と、副シール部５０とに連続するように設けられており、切取りミシン５１を跨ぐように配置されている。

配送情報５３は、配送情報４３と同様に、取扱種別「通常」を、さらに詳細に識別するための情報である。配送情報５３は、「１５０ Ａ４」、「３００ Ｂ４」が設けられている。

マークガイド５４は、マークガイド４４と同様に、配送情報５３の周囲全周に、切取りミシン５１を跨ぐように配置されている。

[0028] 客控１０、貼付シール部２０の主シール部３０は、同一の番号（管理情報）が付された、問合せ情報６２、管理コード６３を備える。

客控１０の問合せ情報６２は、番号のみが問合せ情報片６２ａに印刷されている。

問合せ情報片６２ａは、切り込み線である分離線６２ｂによって客控１０

と分離している。分離線 6 2 b は、貼付シール部周縁切込み 1 1 等と同様に、シール層を貫通している。

これにより、問合せ情報片 6 2 a は、客控 1 0 から分離して、剥離基材から剥離できる。

主シール部 3 0 の管理コード 6 3 には、番号に加えて、その番号を示すバーコードが付されている。バーコードは、取扱店が配送物の荷受のためポスレジスターで読み込んだり、配送担当者が配送管理のため携帯端末で読み込むために利用されたりする。

[0029] (使用方法)

図 2 を参照して配送用シール 1 の使用方法の一例について説明する。

配送物取扱店では、配送物の配送依頼があったときに、まず、集荷票（図示せず）に配送物の受取人の氏名を記載し、品名欄にマークを記載し、出荷票の金額記載欄に金額を、日付記載欄に受取日を記載する。

なお、信書の取り扱いができない等の事情がある場合には、取扱店の担当（作業員）は、配送物 7 0 が信書ではないという署名を、依頼者に対して依頼する。依頼者は、了解すると、署名シート（図示しない）に署名する。

署名シートは、複写片になっており、署名の店舗控、署名の客控を備える。複数の配送物 7 0 を同時に依頼する場合でも、署名シートは、1 枚でよい。

[0030] 取扱店の担当は、配送物を確認して、配送情報 4 3, 5 3 が印刷されている位置にマークを記載する。マークガイドが印刷されている場合はマークガイドに沿ってマークを記載する。

図 2 は、配送物が「速達」扱いで依頼され、配送用シールに印刷されている「速達」扱い配送情報の周りにマーク 4 4 a を記載した例である。

[0031] 図 1 0 に示すように、取扱店の担当は、配送物 7 0 に受取人の宛先情報 7 1 が正確に記載されていることを確認し、配送用シール 1 から貼付シール部 2 0 を剥がす。

取扱店の担当は、受取人の宛先情報 7 1 に重ならない所定の場所に貼付シ

ール部 20 を再貼付する。

[0032] 図 3 を参照して、速達メール便に使用される配送用シールの客控の一例について説明する。

配送物は「速達」扱いであるため、図 2 に示す右上コーナ部の切取りミシン 41 の引き剥がし部（切取りミシン 41 の切込み 41 b）から、主シール部 30 を左側（左側の副シール部 50）に向かって剥がしてゆく。

前述したように、右側の切取りミシン 41 の上端 41 U のカット部 41 a は、切込み 41 b によって、貼付シール部周縁切込み 11 に接続されている。このため、主シール部 30 及び剥離基材は、上辺側が切込み 41 b をきっかけに、切取りミシン 41 から貼付シール部周縁切込み 11 に沿って右側から左側に向けて剥離し、かつ、上辺側から下辺側に向けて剥離する。また、主シール部 30 及び副シール部 40 は、切取りミシン 41 によって容易に分離する。

[0033] 剥離は、上辺を左側に進み、切取りミシン 51 の上端 51 U に達する。

ここで、前述したように、左側の切取りミシン 51 は、貼付シール部周縁切込み 11 の手前の上端 51 U がアンカット部となっている。なお、切取りミシン 51 の上端 51 U が主シール部 30 及び副シール部 50 を連結する強度は、主シール部 30 及び副シール部 50 が接着剤層から剥離する場合に切取りミシン 51 の上端 51 U に加わる力よりも、十分に強く設定してある。

このため、剥離が切取りミシン 51 の上端 51 U に達しても、主シール部 30 及び副シール部 50 は、左側の切取りミシン 51 で分離しない。

そのため、主シール部 30 及び副シール部 50 は、接続された状態で貼付シール部周縁切込み 11 に沿って、一体で剥離基材から剥がされる。

[0034] このようにして、貼付シール部 20 は、主シール部 30、副シール部 40 及び副シール部 50 のうち主シール部 30 及び副シール部 50 のみが剥離基材から分離し、副シール部 40 が剥離基材上に残存した状態となる。

[0035] なお、貼付シール部 20 は、副シール部 50 の左上コーナ部から剥離してもよい。

この場合には、副シール部 5 0 及び剥離基材間の剥離が、副シール部 5 0 の上辺側のうち左上コーナ部から始まり、左側から右側に進み、切取りミシン 5 1 の上端 5 1 U に到達する。切取りミシン 5 1 の上端 5 1 U は、アンカット部（難分離端）であるので、主シール部 3 0 及び副シール部 5 0 は、左側の切取りミシン 4 1, 5 1 で分離することがない。

そして、主シール部 3 0 及び剥離基材間の剥離は、切取りミシン 4 1 の上端 4 1 U に到達する。切取りミシン 4 1 の上端 4 1 U は、易分離端であるので、主シール部 3 0 及び副シール部 4 0 は、切取りミシン 5 1 の上端 4 1 U の切込みをきっかけに分離する。

これにより、前述した例と同様に、主シール部 3 0 及び副シール部 5 0 のみが剥離基材から分離し、副シール部 4 0 が剥離基材上に残存する態様となる。

[0036] なお、詳細な説明は省略するが、配送物が「通常」扱いの場合には、マークガイド 5 4 にマークした後、主シール部 3 0 を、切取りミシン 5 1 の下端 5 1 D から右側に向かって剥離するか、副シール部 4 0 を右下コーナ部から左側に向かって剥離すればよい。

これにより、貼付シール部 2 0 は、主シール部 3 0、副シール部 4 0 及び副シール部 5 0 のうち主シール部 3 0 及び副シール部 4 0 のみが剥離基材から分離し、副シール部 5 0 が剥離基材上に残存した態様となる。

[0037] このように、店舗の担当は、配送物の取扱種別に応じて、貼付シール部 2 0 の剥離方法を選択すればよいので、配送物の荷受を簡単に作業できる。

[0038] 図 3 は、配送用シール 1 から、貼付シール部 2 0 の主シール部 3 0 と左側の副シール部が剥がされた後の状態を示しており、右側の切取りミシン 4 1 の外側にマーク 4 4 a が残されている。問合せ情報 6 2 が「1 1 2 3－4 5 6 7－8 9 0 1」の配送物は速達で配送された証拠として依頼人に渡される。すなわち、配送用シール 1 は、貼付シール部 2 0 の主シール部 3 0 と左側の副シール部が剥がされた後は、剥離基材の剥離処理面 2 a が露出した状態の客控 1 0 として使用される。なお、前述した署名シートに署名した場合に

は、署名シートの客控（図示せず）も、依頼主に渡される。

問合せ情報 62 は、配送物の配送を依頼した者が配送物の配送状況を問合せの際に使用される。

[0039] なお、複数の配送物 70 を同時に依頼した場合には、複数の客控 10 が依頼主に渡され、客控 10 の管理が煩雑になる可能性がある。この場合には、依頼主は、複数の客控 10 から各問合せ情報片 62 a を剥離して、紙片等に貼付して、これを控え片として利用できる。前述した署名シートの客控え片がある場合には、各問合せ情報片 62 a を、この客控え片に貼付してもよい。

これにより、客控 10 を破棄等しても、問合せ情報 62 を確認できる。このため、依頼主は、署名シートの客控等のみを管理すればよいので、管理が容易になる。

[0040] 図 4 は、図 2 の配送用シールから剥された主シール部 30 と切取りミシン 51 を介して接続された左側の副シール部 50 による貼付シール部 20 を示している。

貼付シール部 20 は、図 4 に示す状態で配送物に貼付される。

配送物は、取扱店から配達担当者が受け取る。

貼付シール部 20 の切取りミシン 41 の近傍には切取りミシン 41 を跨いで記載されたマーク 44 a の半分が表示されている。このことによって、配達担当者は、貼付シール部 20 が貼付された配送物は「速達」扱いの、大きさが「B4」の配送物であることが識別できる。

図 10 に示す配送物 70 が受取人のポストに投函される直前に、配送物 70 が配送されたことを記録に残すために、配送担当の携帯端末の光センサなどによって貼付シール部 20 の管理コード 63 が読み取られ、携帯端末に記憶される。

[0041] このように、配送用シール 1 は、「通常」、「速達」を選択して、配送物 70 の識別に利用できる。これにより、「通常」、「速達」用それぞれにシールを用意する必要がなく、シールの在庫管理が容易である。また、「通常

」、「速達」用にそれぞれバーコードを発行する必要がないので、バーコードの番号を破棄することがなく、バーコードを有効利用できる。さらに、取扱店の担当は、配送物 70 の「通常」、「速達」に応じて、貼付シール部 20 の剥離方法を選択すればよいので、作業が簡単である。

[0042] 図 5 を参照して本発明の配送用シールの他の実施形態について説明する。

なお、以下の説明及び図面において、図 1 に示す配送用シール 1 と同様の機能を果たす部分には、同一の符号を付して、又は同一の符号に枝番を付して、重複する説明を適宜省略する。

図 5 に示す配送用シール 1-1 と、図 1 で示した配送用シール 1 とは、形状が同一であり、各印刷の位置が異なる。

図 1 で示した例は、一方の切取りミシン 41 の近傍の紙基材表出面に、「速達」の取扱種別を識別させる取扱種別表示 42a, 42b が印刷によって表示され、他方の切取りミシン 51 の近傍の紙基材表出面に、「通常」の取扱種別を識別させる取扱種別表示 52a, 52b が印刷によって表示された例であった。

貼付シール部周縁切込み 11 の一方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面に、「速達」の取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面に、「通常」の取扱種別表示が印刷によって表示された例である。

図 5 に示す例の場合も、配送情報 43-1, 53-1 及びマークガイド 44-1, 54-1 が、切取りミシン 41, 51 を跨ぐように印刷されている。

[0043] すなわち、配送用シール 1-1 の構成は、以下の通りである。

副シール部 40-1 (第 1 副シール部) は、取扱種別表示 42b-1 (第 1 副シール部識別情報) を備える。取扱種別表示 42b-1 は、取扱種別を識別するために、「速達」の文字が印刷されたものである。また、副シール部 40-1 の全面の色彩は、ハッチングで示すように、青色である。

客控 10 (周辺シール部) には、貼付シール部周縁切込み 11 を介して、

取扱種別表示 4 2 b - 1 に対応する位置に、「速達」の文字が印刷された取扱種別表示 4 2 d - 1 が設けられている。

配送情報 4 3 - 1 (第 1 細識別情報) は、客控 1 0 及び副シール部 4 0 - 1 に連続するように設けられており、貼付シール部周縁切込み 1 1 を跨ぐように配置されている。

マークガイド 4 4 - 1 は、配送情報 4 3 - 1 の周囲全周に、切取りミシン 4 1 を跨ぐように配置されている。

[0044] 同様に、副シール部 5 0 - 1 (第 2 副シール部) は、「通常」の文字が印刷された取扱種別表示 5 2 b - 1 (第 2 副シール部識別情報) を備える。また、副シール部 5 0 - 1 の全面の色彩は、ハッチングで示すように、赤色である。

客控 1 0 には、取扱種別表示 5 2 b - 1 に対応する位置に、「通常」の文字が印刷された取扱種別表示 5 2 d - 1 が設けられている。

配送情報 5 3 - 1 (第 2 細識別情報) は、客控 1 0 及び副シール部 5 0 - 1 に連続して、貼付シール部周縁切込み 1 1 を跨ぐように配置されている。

マークガイド 5 4 - 1 は、配送情報 5 3 - 1 の周囲全周に、切取りミシン 5 1 を跨ぐように配置されている。

[0045] 図 2 に示す例では、「速達」と印刷されている取扱種別表示 4 2 a 側の切取りミシン 4 1 によって主シール部 3 0 を剥がしたが、図 5 に示す例では、「通常」と印刷されている取扱種別表示 5 2 b - 1 側の切取りミシン 5 1 によって主シール部 3 0 - 1 を剥がす。

したがって、主シール部 3 0 - 1 を剥がす際のご案内文「速達扱い引き剥がし」が、図 2 の例では貼付シール部 2 0 の上に、図 5 の例では貼付シール部 2 0 - 1 の下に印刷されている。

[0046] 図 5 に示す配送用シール 1 - 1 の使用方法は、図 2 で説明した内容に準じているため省略する。

[0047] 図 6 を参照して、速達メール便に使用される配送用シールの客控の一例について説明する。配送物は「速達」扱いであるため、図 5 に示す左側の切取

リマシン 5 1 の引き剥がし部である下端 5 1 D の切込みから、主シール部 3 0 - 1 を右側の副シール部 4 0 - 1 に向かって剥がしてゆく。

左側の切取りマシン 5 1 は、貼付シール部周縁切込み 1 1 までカット部が形成されており、主シール部 3 0 - 1 は切取りマシン 5 1 の下端 5 1 D から貼付シール部周縁切込み 1 1 に沿って剥がされてゆく。

一方、右側の切取りマシン 4 1 は、貼付シール部周縁切込み 1 1 の手前である下端 4 1 D が難分離端でありカット部が止まっているため、主シール部 3 0 - 1 は主シール部 3 0 - 1 に右側の副シール部 4 0 - 1 を右側の切取りマシン 4 1 で接続した状態で貼付シール部周縁切込み 1 1 に沿って剥がされる。

[0048] 図 6 は、配送用シール 1 - 1、貼付シール部 2 0 - 1 の主シール部 3 0 - 1 と右側の副シール部 4 0 - 1 が剥がされた後の状態を示している。右側の貼付シール部周縁切込み 1 1 の外側にマーク 4 4 a - 1 が残されており、問合せ情報 6 2 が「1 1 2 3 - 4 5 6 7 - 8 9 0 1」の配送物は速達で配送された証拠として依頼人に渡される。すなわち、配送用シール 1 - 1 は、貼付シール部 2 0 - 1 の主シール部 3 0 - 1 と右側の副シール部 4 0 - 1 が剥がされた後は、剥離基材の剥離処理面 2 a が露出した状態の客控 1 0 として使用される。

問合せ情報 6 2 は、配送物の配送を依頼した者が配送物の配送状況を問合せる際に使用される。

[0049] 図 6 に示すように、配送用シール 1 - 1 の場合には、マーク 4 4 a - 1 の半分は、客控 1 0 に直接記載されることになる。このため、客が客控 1 0 の携行時等に、副シール部 5 0 - 1 が剥離基材から剥離し紛失してしまったような場合でも、マーク 4 4 a - 1 が客控 1 0 に残る。これにより、この場合でも、客は、配送物の配送種別を確認できる。

[0050] 図 7 は、図 5 の配送用シール 1 - 1 から剥がされた主シール部 3 0 - 1 と右側の副シール部 4 0 - 1 である。

貼付シール部 2 0 - 1 は、図 7 に示す状態で配送物に貼付される。

貼付シール部 20-1 の右側の短辺近傍の紙基材表出面に「速達」の取扱種別表示 42b-1 が印刷によって表示されている。

貼付シール部 20-1 には、貼付シール部周縁切込み 11 の短辺の切込みを跨いで記載されたマーク 44a-1 の半分が表示されている。このことによって、貼付シール部 20-1 が貼付された配送物は「速達」扱いの、大きさが「B4」の配送物であることが識別できる。

また、副シール部 40-1 の全面は、青色の色彩になっているので、配送担当等は、一目瞭然で、配送物の取扱種別が「速達」扱いであることを識別できる。

図 10 に示す配送物 70 が受取人のポストに投函される直前に、配送物 70 が配送されたことを記録に残すために、配送担当の携帯端末の光センサなどによって貼付シール部 20-1 の管理コード 63 が読み取られ、携帯端末に記憶される。

[0051] 図 8、図 9 に示す配送用シール 1-2, 1-3 は、図 1 で示した配送用シール 1 とは、切取りミシン 41-2, 51-2、41-3, 51-3 の形状が異なる。

配送用シール 1-2, 1-3 は、切取りミシン 41-2, 51-2、41-3, 51-3 のカット部の形状をジッパーミシンの片側の形状（以下、単にジッパーミシンという）とした例である。

ジッパーミシンにはさまざまな形状がある。

例えば、図 8 に示す切取りミシン 41-2, 51-2 のように、引き裂く方向に直線を「く」の字に曲げた形状（図 8a に拡大して示す）である。

また、図 9 に示す切取りミシン 41-3, 51-3 のように引き裂く方向に直線を「く」の字に曲げ、「く」の字の先端をアンカット部に向けて更に「かぎ状」に曲げた形状（図 9a に拡大して示す）などである。

更に、「Y 字」状のカット部を直線状に縦に並べたものなども使用される。

図 8 及び図 9 に示す配送用シール 1-2, 1-3 の詳細な説明は、図 1 で

説明した内容に準じるため省略する。

[0052] 以上説明したように、本実施形態の配送用シールは、従来宅配などで使用されるメール便で、配送のためのシールを通常メール使用と、速達メール使用とを別々に用意し使い分けする必要があったものを、一つの配送用シールにまとめることができ、取り違えて使用されることを抑制できる。また、在庫管理も容易になり、結果としてコストダウンを計ることもできる。

また、本実施形態の配送用シールは、一方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、速達の取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、通常の取扱種別表示が印刷によって表示され、配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドがそれぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていることによって、配送物貼付シールを剥がす位置と取扱種別を示す表示の位置を同じ側に設定することができ、使い勝手を向上できる。

さらに、本実施形態の配送用シールは、貼付シール部周縁切込みの一方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面には、速達の取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面には、通常の取扱種別表示が印刷によって表示され、配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドがそれぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていることによって、配送物貼付シールに余白が生まれ、配送物貼付シールの使用面積を広げることができる。

[0053] (第2実施形態)

次に、本発明の第2実施形態について説明する。

なお、第2実施形態以降の説明及び図面では、前述した第1実施形態と同様の機能を果たす部分には、同一の符号又は末尾（下2桁）に同一の符号を付して、重複する説明を適宜省略する。

また、第2実施形態以降の配送用シールは、形状のみを第1実施形態から変更し、印刷に係る部分（取扱種別表示、配送情報、マークガイド、問合せ情報、管理コード等）、マークへの記入方法、配送物への貼付方法等は、第

1 実施形態と同様である。このため、第2実施形態以降は、形状に係る部分を主に説明し、印刷に係る部分、各使用方法等の図示、説明を適宜省略する。

[0054] 図11は、第2実施形態の配送用シール201を説明する図である。

図11(a)は、切取りミシン241の拡大図である。

図11(b)は、切取りミシン251の拡大図である。

第2実施形態の配送用シール201の印刷に係る主な部分は、第1実施形態の配送用シール1-1と同様である(図5参照)。

配送用シール201は、切取りミシン241、251、つまみ245、255を備える。

切取りミシン241、251は、「く」の字側のカット部が配列されたジッパタイプである。

図11(a)に示すように、切取りミシン241は、斜めカット部241bの端部から、本カット部241aに向けて、微細な切込み241cが設けられている。

図11(b)に示すように、同様に、切取りミシン251は、斜めカット部251bの端部から、本カット部251aに向けて、微細な切込み251cが設けられている。

[0055] つまみ245、255は、店舗の担当が貼付シール部220を剥離するときに、つまめるようにした部分である。

つまみ245は、副シール部240の右下コーナ部から、外側に突出するように、設けられている。つまみ255は、副シール部250の左上コーナ部から、外側に突出するように、設けられている。

[0056] 図12、図13は、第2実施形態の貼付シール部220の剥離方法を説明する図である。

店舗の担当等(作業員)は、以下のようにして、貼付シール部220を剥離できる。

ここでは、主シール部230、副シール部240を一体で剥離する例を説

明する。

図 1 2 (1) に示すように、副シール部 2 4 0 のつまみ 2 4 5 をめくりあげて、副シール部 2 4 0 を左上に向けて、剥離基材から剥離する。

[0057] 剥離は、副シール部 2 4 0 の右辺に沿って上側に向けて進み（矢印 1 2 a 参照）、副シール部 2 4 0 の下辺に沿って左側に向けて進む（矢印 1 2 b 参照）。

剥離は、副シール部 2 4 0 の下辺を左に向けて進むと、切取りミシン 2 4 1 の下端 2 4 1 D に到達する。切取りミシン 2 4 1 の下端 2 4 1 D は、アンカット部であり難分離端である。

下端 2 4 1 D のアンカット部の強度は、主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 4 0 が一体で剥離する場合に加わる力よりも十分に大きく設定してある。このため、主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 4 0 は、切取りミシン 2 4 1 では分離しない。

[0058] 図 1 2 (2) に示すように、そのため、主シール部 2 3 0 は、副シール部 2 4 0 と一体となって、下辺に沿って右側に向けて剥離する（矢印 1 2 c 参照）。

図 1 1 (a) に示すように、主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 4 0 は、切取りミシン 2 4 1 では分離しないが、切取りミシン 2 4 1 の斜めカット部 2 4 1 b の端部には、力が集中しようとして、亀裂が入ってしまう可能性がある（矢印 1 1 a 参照）。実施形態では、切込み 2 4 1 c によって力を分散し（矢印 1 1 b 参照）、この亀裂発生を抑制している。貼付シール部 2 2 0 は、破損が抑制される。

[0059] 図 1 3 (3) に示すように、主シール部 2 3 0 の剥離は、左側に進むと、切取りミシン 2 5 1 の下端 2 5 1 D に到達する。切取りミシン 2 5 1 の下端 2 5 1 D は、易分離端である。このため、主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 5 0 は、切取りミシン 2 5 1 で分離する。

図 1 2 (4) に示すように、主シール部 2 3 0 は、切取りミシン 2 5 1 に沿って上側に移動する（矢印 1 3 a 参照）。

図 1 1 (b) に示すように、切取りミシン 2 5 1 は、ジッパタイプであるので、本カット部 2 4 1 a の端部から斜めカット部 2 4 1 b に向けて、より確実に亀裂が入る（矢印 1 1 c 参照）。

[0060] 以上の作業によって、貼付シール部 2 2 0 は、主シール部 2 3 0、副シール部 2 4 0 及び副シール部 2 5 0 のうち主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 4 0 のみが剥離基材から剥離し、副シール部 2 5 0 が残存した形態になる。これは、第 1 実施形態の貼付シール部 2 0 - 1 と同様な形態である（図 6、図 7 参照）。

これにより、本実施形態の配送用シール 2 0 1 は、第 1 実施形態の配送用シール 1 - 1 と同様に、配送物の識別に利用できる。

配送用シール 2 0 1 は、つまみ 2 4 5、2 5 5 を有するので、作業性を向上できる。

[0061] なお、説明は省略するが、貼付シール部 2 2 0 の主シール部 2 3 0、副シール部 2 4 0 及び副シール部 2 5 0 のうち主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 5 0 のみを剥離基材から剥離する場合には、つまみ 2 5 5 を右下に向けて剥離すればよい。

これにより、主シール部 2 3 0 及び副シール部 2 5 0 は、切取りミシン 2 5 1 で分離することなく剥離基材から分離し、副シール部 2 4 0 が剥離基材に残存した態様となる。

[0062] (第 3 実施形態)

次に、本発明の第 3 実施形態について説明する。

第 3 実施形態の説明及び図面では、前述した第 2 実施形態と同様の機能を果たす部分には、同一の符号又は末尾（下 2 桁）に同一の符号を付して、重複する説明を適宜省略する。

図 1 4 は、第 3 実施形態の配送用シール 3 0 1 を説明する図である。

図 1 4 (a) は、切取りミシン 3 4 1 の下端 3 4 1 D の拡大図である。

図 1 4 (b) は、切取りミシン 3 5 1 の下端 3 5 1 D の拡大図である。

図 1 4 (c) は、切取りミシン 3 4 1 の上端 3 4 1 U の拡大図である。

第3実施形態の配送用シール301は、切取りミシン341の上端341U、下端341Dの形状と、切取りミシン351の上端351U、下端351Dの形状とを、第2実施形態から変更した。

以下の説明のうち剥離に係る説明は、主に、作業者がつまみ345をつまんで、副シール部340及び主シール部330を一体で剥離する例を説明する。

[0063] 図14(a)に示すように、切取りミシン341の下端341D近傍には、貼付シール部周縁切込み11の下辺に連結するように、斜めカット部341bが設けられている。

作業者がつまみ345をつまんで、副シール部340を剥離し、副シール部340の貼付シール部周縁切込み11の左端11aに到達すると、亀裂が矢印14aの方向に進む。副シール部340の貼付シール部周縁切込み11及び主シール部330の貼付シール部周縁切込み11は、繋がる。

また、仮に、亀裂が矢印14bの方向に傾いても、斜めカット部341bに到達するので、結局、副シール部340の貼付シール部周縁切込み11及び主シール部330の貼付シール部周縁切込み11は、繋がる。

なお、この場合、亀裂が斜めカット部341bに沿って右上に進んで、斜めカット部341bの端部に到達したとしても、切込み341cによって力が分散され（矢印14c参照）、斜めカット部341bの端部における亀裂も抑制できる。

[0064] また、切込み341cの端部から本カット部341aまでの部分の長さL341dは、アンカット部341eの長さL341eよりも十分に大きく、この部分での破断も抑制できる。

これにより、切取りミシン341の下端341Dでは、副シール部340及び主シール部330が連続して剥離され、剥離作業の失敗を抑制できる。

[0065] 図14(b)に示すように、切取りミシン351の下端351Dには、主シール部330の左下コーナ部に、R部351hが設けられている。このため、貼付シール部320は、主シール部330及び副シール部340が一体

で剥離した状態では、コーナ部にRがつくことになり、見た目がよい。

また、貼付シール部周縁切込み11は、切取りミシン351の下端351Dでは、止め351jが設けられており、主シール部330及び副シール部350が不連続である。このため、剥離時には、主シール部330及び副シール部350が確実に分離し、主シール部330のみが剥離される。

[0066] 図14(c)に示すように、切取りミシン341の上端341Uには、主シール部330の右上コーナ部のR部341hに連結する切込み341iが設けられている。このため、剥離時には、貼付シール部周縁切込み11の左端から切込み341iに向けて、左上に亀裂が入る（矢印14d参照）。これにより、貼付シール部周縁切込み11は、切取りミシン351の上端341U部分に止め341jが設けられていても、剥離時には、貼付シール部周縁切込み11が繋がる。

これにより、切取りミシン341の上端341Uでは、副シール部340及び主シール部330が連続して剥離され、剥離作業の失敗を抑制できる。

[0067] なお、切取りミシン341の下端341D近傍の斜めカット部341bは、前述したように、本カット部341aの破断を主目的とするものではないため、切取りミシン341の構成には含まれない。このため、本実施形態においても、切取りミシン341（第1分離線）は、貼付シール部周縁切込み11に不連続である。切取りミシン351の上端351U近傍の斜めカット部も、同様である。

[0068] また、つまみ355を右下に向けて剥離する場合には、図14(a)に示す下端341Dでは、本カット部341aの下端341kから、斜めカット部341bに向けて亀裂が入り、主シール部330及び副シール部340が分離する。

このため、斜めカット部341bには、つまみ345、355のいずれから剥離しても、亀裂が入ることになる。このように、いずれから剥離しても、亀裂が斜めカット部341bに繋がるように、斜めカット部341bは、傾きを45°にして、貼付シール部周縁切込み11の左端11aと、本カッ

ト部 3 4 1 a の下端 3 4 1 k との中間に配置するのが好適である。

[0069] (第 4 実施形態)

次に、本発明の第 4 実施形態について説明する。

図 1 5 は、第 4 実施形態の配送用シール 4 0 1 を説明する図である。

配送用シール 4 0 1 は、切取りミシン 4 1 1 a (第 1 調整切込み)、切取りミシン 4 1 1 b (第 2 調整切込み)、切取りミシン 4 4 1, 4 5 1、つまり 4 4 5, 4 5 5 を備える。

切取りミシン 4 1 1 a, 4 1 1 b は、貼付シール部周縁切込み 4 1 1 の右側及び左側の辺を形成するミシン目である。

つまり、切取りミシン 4 1 1 a は、貼付シール部周縁切込み 4 1 1 のうち副シール部 4 4 0 (第 1 副シール部) 及び客控 1 0 (周辺シール部) 間の境界に設けられている。切取りミシン 4 1 1 b は、貼付シール部周縁切込み 4 1 1 のうち副シール部 4 5 0 (第 2 副シール部) 及び客控 1 0 (周辺シール部) 間の境界に設けられている。

切取りミシン 4 1 1 a, 4 1 1 b は、カット部の両側に斜めカット部が設けられたジッパータイプである。

[0070] 切取りミシン 4 1 1 a は、切取りミシン 4 5 1 (第 2 分離線) と同様な形状のミシン目である。つまり、切取りミシン 4 1 1 a の斜めカット部の方向と、切取りミシン 4 5 1 の斜めカット部の方向とは、上矢印方向であり、同じである。

同様に、切取りミシン 4 1 1 b は、切取りミシン 4 4 1 (第 1 分離線) と同様な形状のミシン目である。つまり、切取りミシン 4 1 1 b の斜めカット部の方向と、切取りミシン 4 4 1 の斜めカット部の方向とは、下矢印方向であり、同じである。

[0071] また、切取りミシン 4 1 1 a と、切取りミシン 4 5 1 とは、縦方向において、ジッパ部が設けられている位置が同じである。同様に、切取りミシン 4 1 1 b と、切取りミシン 4 4 1 とは、縦方向において、ジッパ部が設けられている位置が同じである。

例えば、切取りミシン４１１ａの最上部のジッパ部の位置と、切取りミシン４５１の最上部のジッパ部の位置は、長さＬ１，Ｌ２に示すように同じである。

[0072] 切取りミシン４５１の下端４５１Ｄは、主シール部４３０の左下コーナ部が、Ｒ部４５１ｂになっている。このため、切取りミシン４５１の下端のカット部４５１ｃは、貼付シール部周縁切込み４１１の下辺に連続している。

また、貼付シール部周縁切込み４１１は、第３実施形態とは異なり、切取りミシン４５１の下端４５１Ｄの部分で連続している。

[0073] つまみ４４５は、主シール部４３０の下辺を、外側（下側）に突出した部分である。つまみ４４５は、半円状である。

左右方向において、つまみ４４５の中心から、切取りミシン４１１ａまでの長さＬ４１１ａと、切取りミシン４５１までの長さＬ４５１は、同等（又はほぼ同等）である。

同様に、つまみ４５５は、主シール部４３０の上辺に、設けられている。

[0074] 図１６は、第４実施形態の貼付シール部４２０の剥離方法を説明する図である。

店舗の担当等（作業者）は、以下のようにして、貼付シール部４２０を剥離できる。

ここでは、第２実施形態と同様に、主シール部４３０、副シール部４４０を一体で剥離する例を説明する。

図１６（１）に示すように、主シール部４３０のつまみ４４５をめくりあげて、主シール部４３０の下辺側（他辺側）から上辺側（一辺側）に向けて剥離する。

図１６（２）に示すように、剥離は、つまみ４４５の部分から、下辺を左右両方に均等に進む（矢印１６ａ参照）。

長さＬ４１１ａ，Ｌ４５１が同等なので（図１５参照）、剥離は、主シール部４３０の左下コーナ部、副シール部４４０の右下コーナ部にほぼ同時に到達する。

[0075] 図16(3)に示すように、左側の領域では、切取りミシン451の下端451Dが易分離端であり貼付シール部周縁切込み411に連続しているの
で、主シール部430は、副シール部450とは分離して剥離する。また、
右側の領域では、主シール部430は、貼付シール部周縁切込み411の右
辺（切取りミシン411a）に沿って剥離する。

これにより、剥離は、切取りミシン451に沿って上側に進むとともに、
切取りミシン411aに右辺に沿って上側に移動する（矢印16b参照）。

[0076] 切取りミシン411a、切取りミシン451は、同様な形状である。また
、縦方向において、切取りミシン411aのジッパ部は、切取りミシン45
1のジッパ部と、同様な位置に配置されている。このため、切取りミシン4
11aは、分離強度を切取りミシン451の分離強度と同等に調整すること
ができる。これにより、作業者は、つまみ455を上辺側に向けて移動すれ
ば、切取りミシン411a、切取りミシン451を、均等な速度で分離しな
がら、主シール部430、副シール部440を剥離できる。

また、図15(a)に示すように、ジッパ部は、両方向の切込み451a
を備えるので、カット部451c端部からの亀裂が確実に切込み451aに
進み（矢印15a参照）、アンカット部451dを安定して破断できる。

[0077] 以上により、配送用シール401は、主シール部430、副シール部44
0が連結した状態で、一体で剥離できる。

なお、詳細な説明は省略するが、つまみ455を、主シール部430の上
辺側から下辺側に向けて剥離すれば、主シール部430、副シール部450
が連結した状態で、一体で剥離できる。

[0078] 以上説明したように、配送用シール401は、主シール部430のつまみ
445、455を選択して剥離することにより、主シール部430、副シー
ル部440のみを剥離、又は主シール部430、副シール部450のみを剥
離できる。

[0079] （第5実施形態）

次に、本発明の第5実施形態について説明する。

図 17 は、第 5 実施形態の配送用シール 501 を説明する図である。

配送用シール 501 は、切取りミシン 541、551 の易分離端の形状を、第 4 実施形態の形状から第 2 実施形態の形状に変更した。

すなわち、配送用シール 501 は、第 2 実施形態と同様に、切取りミシン 551 の下端 551D に、R 部 551h、止め 551j を備える。切取りミシン 541 の上端 541U も、同様である。

これにより、配送用シール 501 は、第 2 実施形態と同様な効果を奏する。すなわち、主シール部 530 及び副シール部 540（又は副シール部 550）が一体で剥離する場合に、コーナ部に R がつき見た目がよく、また、主シール部 530 及び副シール部 550（又は副シール部 550）を確実に分離できる。

[0080]（第 6 実施形態）

次に、本発明の第 6 実施形態について説明する。

図 18 は、第 6 実施形態の配送用シール 601 を説明する図である。

配送用シール 601 は、第 2 実施形態から以下の構成を変更した。

- ・副シール部 250、切取りミシン 251 を削除した。
- ・主シール部 630 の左側に「通常」の文字が印刷された取扱種別表示 652a を設けた。客控 10 に「通常」の文字が印刷された取扱種別表示 652b を設けた。取扱種別表示 652a、652b は、貼付シール部周縁切込み 11 の左辺を挟んで、ほぼ左右対称の位置に配置した。
- ・取扱種別「通常」に関連する配送情報 653（細識別情報）を、貼付シール部周縁切込み 11 の左辺を跨いで、連続するように設けた。同様に、マークガイド 654 を、配送情報 653 を囲むように設けた。
- ・つまみ 655 を、主シール部 630 に左上コーナ部に設けた。

なお、副シール部 640 側の構成は、第 2 実施形態と同様である。

[0081] 図 19 は、第 6 実施形態の貼付シール部 620 の「速達」選択時の使用方法を説明するである。

図 20 は、第 6 実施形態の貼付シール部 620 の「通常」選択時の使用方

法を説明するである。

・「速達」選択時

図19に示すように、「速達」選択時の使用方法是、第1実施形態の配送用シール1-1（図5参照）、第2実施形態と同様である。

すなわち、図19（a）に示すように、店舗の担当等（作業者）は、「速達」の配送物の依頼を受けた場合には、「速達」のマークガイドに沿って、マーク644aを記載する。

そして、つまみ645を左上に向けてめくり上げる（矢印19a参照）。切取りミシン641の下端641Dは、難分離端である。

図19（b）に示すように、このため、貼付シール部620は、主シール部630、副シール部640が一体で剥離する。

配送担当等は、副シール部640の色彩によって、配送物の取扱種別を、一目瞭然で識別できる。

[0082] ・「通常」選択時

図20（a）に示すように、店舗の担当等は、「通常」の配送物の依頼を受けた場合には、「通常」のマークガイド654に沿って、マーク654aを記載する。図20は、サイズB4、料金300円の例である。

そして、つまみ655を右下に向けてめくり上げる（矢印20a参照）。切取りミシン641の上端641Uは、易分離端である。

図20（b）に示すように、このため、貼付シール部620は、主シール部630、副シール部640が切取りミシン641で分離して、主シール部630のみが剥離する。

[0083] 主シール部630には、マーク654aの半分が記載されているので、貼付シール部620として主シール部630のみを配送物に貼付した場合でも、取扱者（店舗の担当、配送担当等）は、配送物が「通常」であること、配送物のサイズ等を識別できる。

また、配送担当等は、副シール部640が存在せず、副シール部640の青色が存在しないことによって、配送物の取扱種別を、一目瞭然で識別でき

る。

客控 10 にも、マーク 654a の半分が記載されているので、客（依頼者）は、配送物を「通常」で依頼したこと、配送物のサイズ等を識別できる。

[0084] 以上説明したように、本発明の配送用シール 601 は、貼付シール部 620 が、主シール部 630、副シール部 640 のみを備える構成でも、剥離態様を選択することにより、配送種別の識別に利用できる。

[0085] 以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は前述した実施形態に限定されるものではなく、後述する変形形態のように種々の変形や変更が可能であって、それらも本発明の技術的範囲内である。また、実施形態に記載した効果は、本発明から生じる最も好適な効果を列挙したに過ぎず、本発明による効果は、実施形態に記載したものに限定されない。なお、前述した実施形態及び後述する変形形態は、適宜組み合わせて用いることもできるが、詳細な説明は省略する。

[0086] （変形形態）

（1）本実施形態において、通常と、速達とを識別する例を示したが、これに限定されない。例えば、通常と、チルド等を識別等してもよい。

（2）実施形態において、識別シールは、配送物の種別の識別のために用いる例を示したが、これに限定されない。識別シールは、他の被着体の識別に用いてもよい。例えば、病院等において、複数の看者（被着体）の容態を識別したり、工場等において、複数の製品（被着体）の品質を識別するために用いてもよい。

符号の説明

[0087] 1, 1-1, 1-2, 1-3, 201, 301, 401, 501, 60

1 配送用シール

10 客控

11, 411, 511 貼付シール部周縁切込み

20, 20-1, 220, 320, 420, 520, 620 貼付シール部

3 0, 3 0 - 1, 2 3 0, 3 3 0, 4 3 0, 5 3 0, 6 3 0 主シール部

4 0, 4 0 - 1, 2 4 0, 3 4 0, 4 4 0, 5 4 0, 6 4 0 副シール部 (第 1 副シール部)

4 1, 4 1 - 2, 4 1 - 3, 2 4 1, 3 4 1, 4 4 1, 5 4 1, 6 4 1
切取りミシン (第 1 分離線)

4 1 U, 2 4 1 U, 3 4 1 U, 4 4 1 U, 5 4 1 U, 6 4 1 U 上端 (易分離端)

4 1 D, 2 4 1 D, 3 4 1 D, 4 4 1 D, 5 4 1 D, 6 4 1 D 下端 (難分離端)

4 2 a 取扱種別表示 (主シール部第 1 識別情報)

4 2 b 取扱種別表示

4 2 b - 1 取扱種別表示 (第 1 副シール部識別情報)

4 2 c 取扱種別表示

4 2 d 取扱種別表示

4 3 配送情報 (第 1 細識別情報)

4 3 - 1 配送情報 (第 1 細識別情報)

4 4 マークガイド

5 0, 5 0 - 1, 2 5 0, 3 5 0, 4 5 0, 5 5 0 副シール部 (第 2 副シール部)

5 1, 5 1 - 2, 5 1 - 3, 2 5 1, 3 5 1, 4 5 1, 5 5 1 切取りミシン (第 2 分離線)

5 1 U, 2 5 1 U, 3 5 1 U, 4 5 1 U, 5 5 1 U 上端 (難分離端)

5 1 D, 2 5 1 D, 3 5 1 D, 4 5 1 D, 5 5 1 D 下端 (易分離端)

5 2 a 取扱種別表示 (主シール部第 2 識別情報)

5 2 b - 1 取扱種別表示 (第 2 副シール部識別情報)

5 3 配送情報 (第 2 細識別情報)

5 3 - 1 配送情報 (第 2 細識別情報)

- 5 4, 6 5 4 マークガイド
- 6 2 問合せ情報（管理情報）
 - 6 2 a 情報片
 - 6 2 b 分離線
- 6 3 管理コード（管理情報）
 - 4 1 1 a 切取りミシン（第 1 調整切込み）
 - 4 1 1 b 切取りミシン（第 2 調整切込み）
- 6 5 2 a 取扱種別表示
- 6 5 2 b 取扱種別表示

請求の範囲

[請求項1]

剥離基材の剥離処理面上に粘着剤層を介して紙基材が貼り合わされた積層体からなり、前記紙基材表出面に表示された取扱種別表示及び配送情報を選択することによって速達、通常何れにも使用することが可能な配送用シールであって、

前記紙基材には配送物に貼付される矩形状の貼付シール部が前記紙基材を貫通する貼付シール部周縁切込みによって形成され、

前記貼付シール部には主シール部とその両脇の副シール部に分断する二本の切取りミシンが貼付シール部の短辺に平行に、かつ、紙基材を貫通する状態で形成され、

前記主シール部の紙基材表出面には管理コードが機械読み取り可能に印刷され、貼付シール部の外側で、かつ、配送用シールの紙基材表出面には問い合わせ情報が目視可能に印刷され、

一方の切取りミシンで主シール部と副シール部を分断し、主シール部を剥離基材から引き剥がしたときに、他方の副シール部が主シール部に接続して剥がされ、貼付シール部が剥がされた配送用シールは客控となること

を特徴とする配送用シール。

[請求項2]

請求項1に記載の配送用シールにおいて、

一方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、速達の取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の切取りミシンの近傍の紙基材表出面には、通常の取扱種別表示が印刷によって表示され、

配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドが前記それぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていることを特徴とする配送用シール。

[請求項3]

請求項1に記載の配送用シールにおいて、

貼付シール部周縁切込みの一方の短辺の切込み近傍の紙基材表出面には、速達の取扱種別表示が印刷によって表示され、他方の短辺の切

込み近傍の紙基材表出面には、通常取扱種別表示が印刷によって表示され、

配送物の大きさを示す配送情報及び当該配送情報を囲むマークガイドが前記それぞれの切取りミシンを跨ぐように印刷されていることを特徴とする配送用シール。

[請求項4]

剥離層を備える剥離基材と、前記剥離基材上に粘着層及び基材を備えるシール層とが積層された識別シールであって、

周辺シール部と、

前記シール層により形成され、前記基材を貫通する貼付シール部周縁切込みによって、前記周辺シール部から分離して剥離基材から剥離可能に形成された貼付シール部とを備え、

前記貼付シール部は、

主シール部と、

第1分離線を介して前記主シール部に連設された第1副シール部と、

第2分離線を介して前記主シール部に連設された第2副シール部とを備え、

前記第2分離線で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部及び前記第1副シール部が一体で剥離する態様と、前記第1分離線で分離して前記剥離基材から剥離することにより前記主シール部及び前記第2副シール部が一体で剥離する態様とが選択可能であること、

を特徴とする識別シール。

[請求項5]

請求項4に記載の識別シールにおいて、

前記第1副シール部は、第1副シール部識別情報を備え、

前記第2副シール部は、第2副シール部識別情報を備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項6]

請求項5に記載の識別シールにおいて、

前記周辺シール部及び前記第 1 副シール部に設けられ、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置された第 1 細識別情報と、

前記周辺シール部及び前記第 2 副シール部に設けられ、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置された第 2 細識別情報とを備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項7] 請求項 4 に記載の識別シールにおいて、
前記主シール部は、

前記第 1 分離線側に主シール部第 1 識別情報を備え、

前記第 2 分離線側に主シール部第 2 識別情報を備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項8] 請求項 7 に記載の識別シールにおいて、

前記主シール部及び前記第 1 副シール部に設けられ、前記第 1 分離線を跨ぐように配置された第 1 細識別情報と、

前記主シール部及び前記第 2 副シール部に設けられ、前記第 2 分離線を跨ぐように配置された第 2 細識別情報とを備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項9] 請求項 6 又は請求項 8 に記載の識別シールにおいて、

前記第 1 細識別情報及び前記第 2 細識別情報は、それぞれ複数の種類が設けられていること、

を特徴とする識別シール。

[請求項10] 請求項 6、請求項 8 又は請求項 9 に記載の識別シールにおいて、

前記各第 1 細識別情報及び前記各第 2 細識別情報の周囲全周又は周囲一部に、前記貼付シール部周縁切込みを跨ぐように配置されたマークガイドを備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項11] 請求項 4 から請求項 10 のいずれかに記載の識別シールにおいて、

前記主シール部、前記周辺シール部にそれぞれ設けられた管理情報

を備えること、

を特徴とする識別シール。

[請求項12] 請求項4から請求項11のいずれかに記載の識別シールにおいて、
前記識別シールは、配送用シールであり、
前記貼付シール部は、配送物である被着体に再貼付され、
前記周辺シール部は、配送元の控えであること、
を特徴とする識別シール。

[請求項13] 請求項12に記載の識別シールにおいて、
前記周辺シール部の前記管理情報が設けられた部分は、
分離線により前記周辺シール部から分離可能であり、
発送元の控え片に再貼付可能であること、
を特徴とする識別シール。

[請求項14] 請求項4から請求項13のいずれかに記載の識別シールの使用方法
であって、

前記貼付シール部を、前記第2分離線で分離して前記剥離基材から
剥離することにより前記主シール部及び前記第1副シール部が一体で
剥離する態様と、前記第1分離線で分離して前記剥離基材から剥離す
ることにより前記主シール部及び前記第2副シール部が一体で剥離す
る態様とを選択する工程と、

剥離した前記貼付シール部を、被着体に再貼付する工程とを備える
こと、

を特徴とする識別シールの使用方法。

[請求項15] 剥離層を備える剥離基材と、前記剥離基材上に粘着層及び基材を備
えるシール層とが積層された識別シールであって、
周辺シール部と、

前記シール層により形成され、前記基材を貫通する貼付シール部周
縁切込みによって、前記周辺シール部から分離して剥離基材から剥離
可能に形成された貼付シール部とを備え、

ル部を前記剥離基材から剥離すること、
を特徴とする識別シール。

[請求項18]

請求項17に記載の識別シールにおいて、
前記貼付シール部は、

一辺側に前記第1分離線の易分離端と、前記第2分離線の難分離端とが配置され、

前記一辺側に対向する他辺側に前記第1分離線の難分離端と、前記第2分離線の易分離端とが配置され、

前記他辺側から剥離することにより、前記主シール部及び前記第1副シール部と、前記第2副シール部とを、前記第2分離線の易分離端から分離して、前記主シール部及び前記第1副シール部を前記剥離基材から剥離し、

前記一辺側から剥離することにより、前記主シール部及び前記第2副シール部と、前記第1副シール部とを、前記第1分離線の易分離端から分離して、前記主シール部及び前記第2副シール部を前記剥離基材から剥離すること、

を特徴とする識別シール。

[請求項19]

請求項18に記載の識別シールにおいて、
前記貼付シール部は、

前記主シール部の前記他辺側を前記一辺側に向けて剥離するか、前記一辺側から前記他辺側に向けて剥離するか、を選択できるものであり、

前記貼付シール部周縁切込みのうち前記第1副シール部及び前記周辺シール部間の境界は、

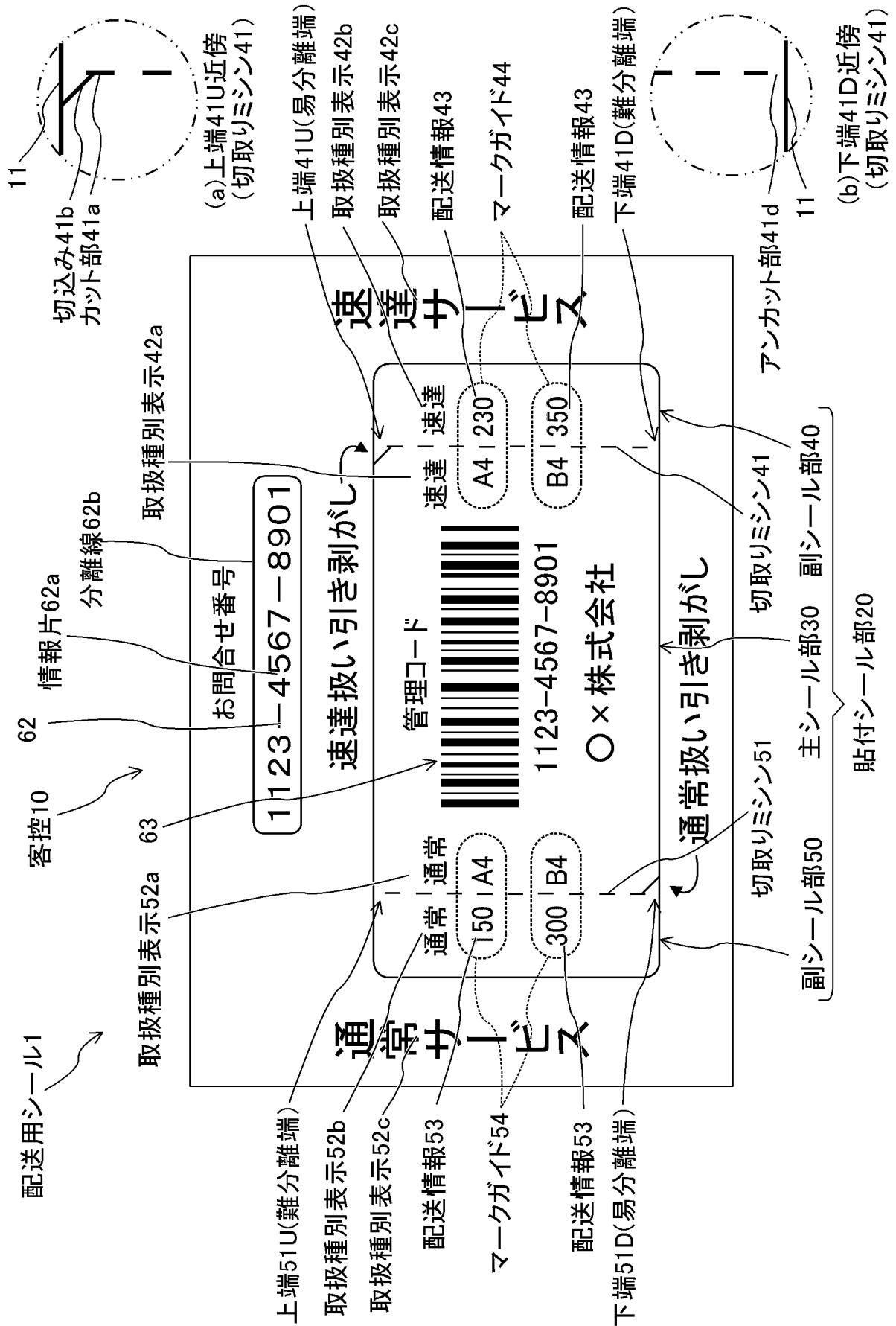
前記主シール部の前記他辺側を前記一辺側に向けて剥離する状態で、前記第1副シール部及び前記周辺シール部間の境界の分離強度を、前記第2分離線の分離強度と同等に調整する第1調整切込みであり、

前記貼付シール部周縁切込みのうち前記第2副シール部及び前記周辺シール部間の境界は、

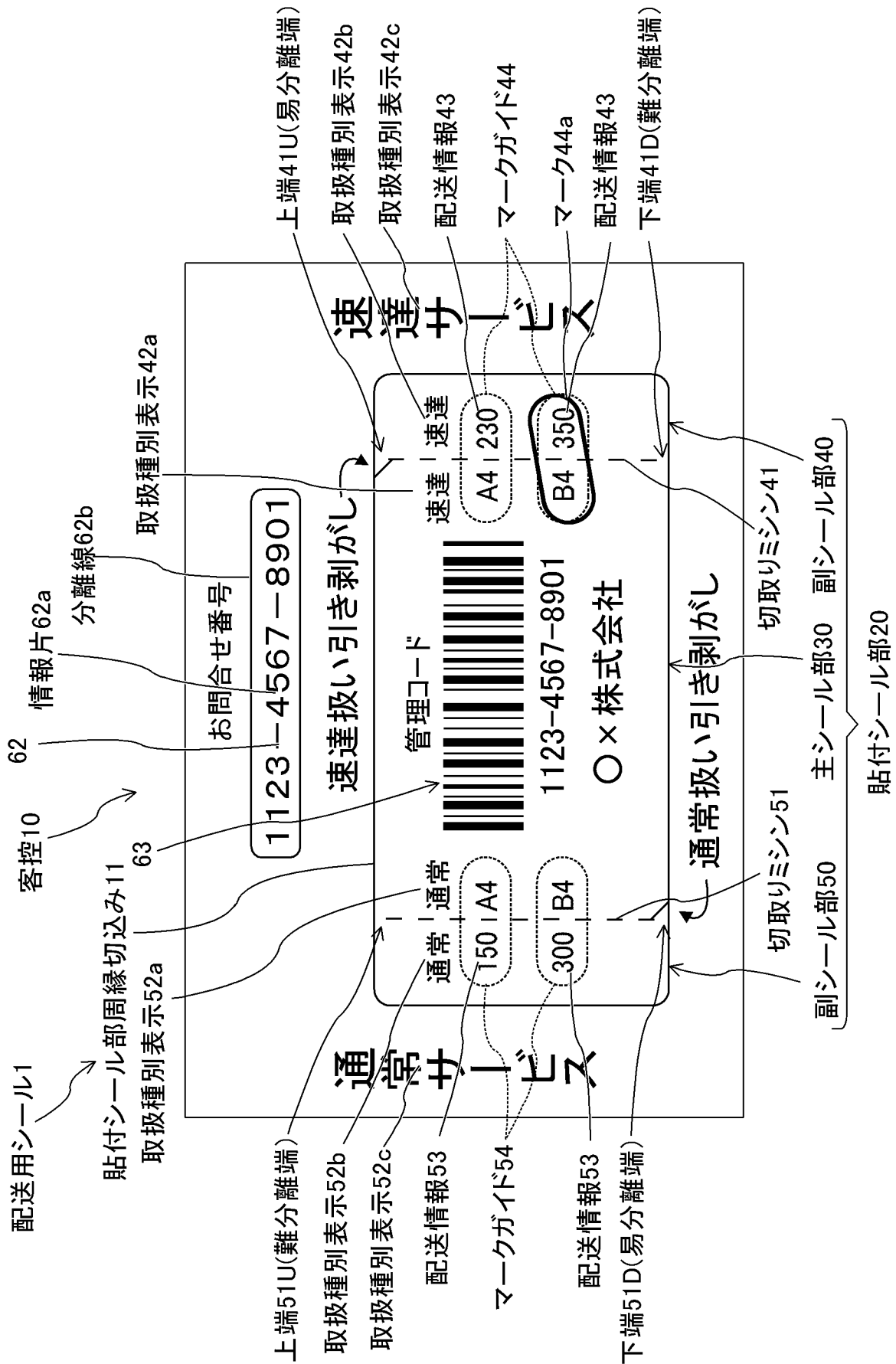
前記主シール部の前記一辺側を前記他辺側に向けて剥離する状態で、前記第2副シール部及び前記周辺シール部間の境界の分離強度を、前記第1分離線の分離強度と同等に調整する第2調整切込みであること、

を特徴とする識別シール。

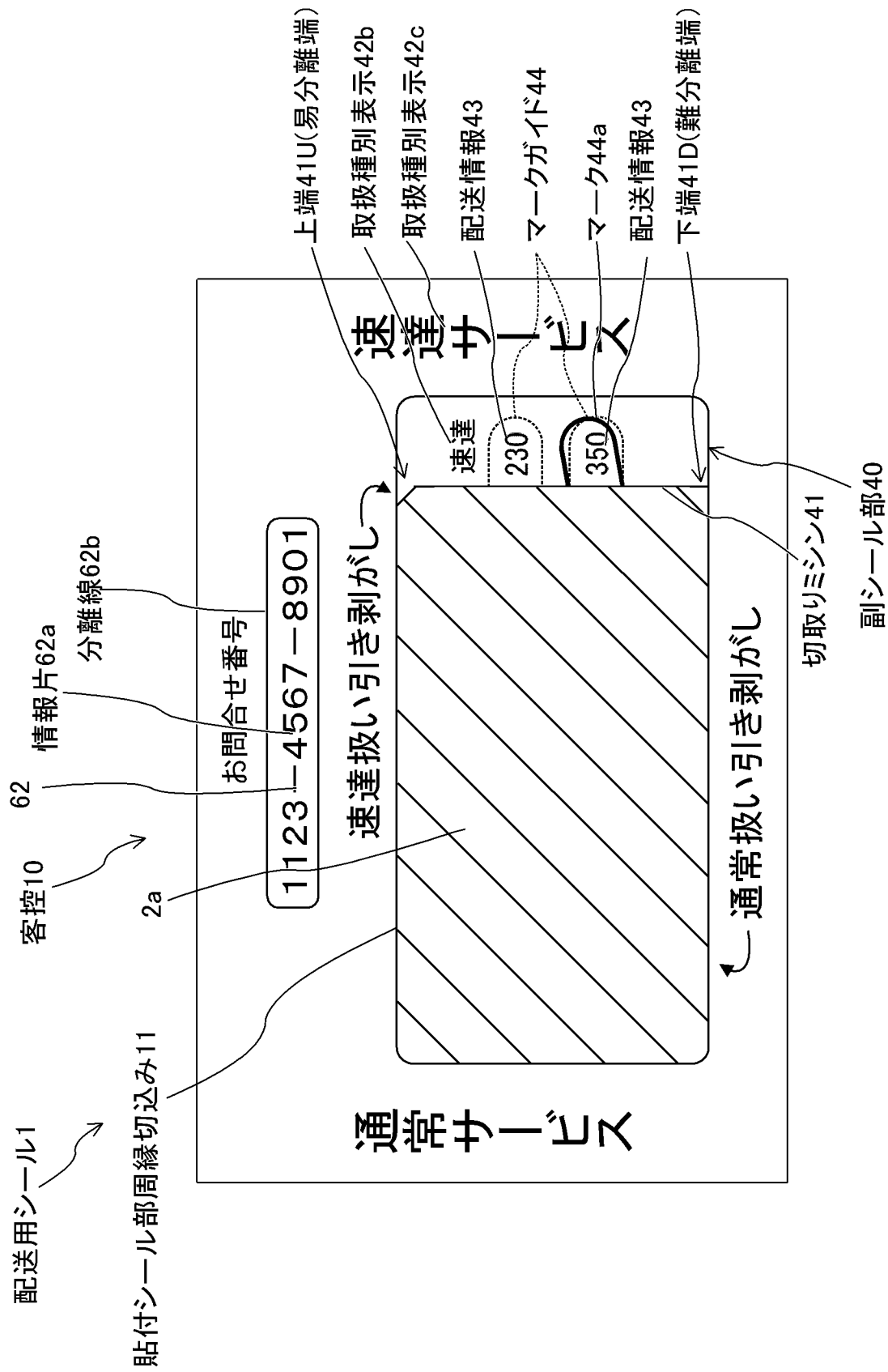
[図1]



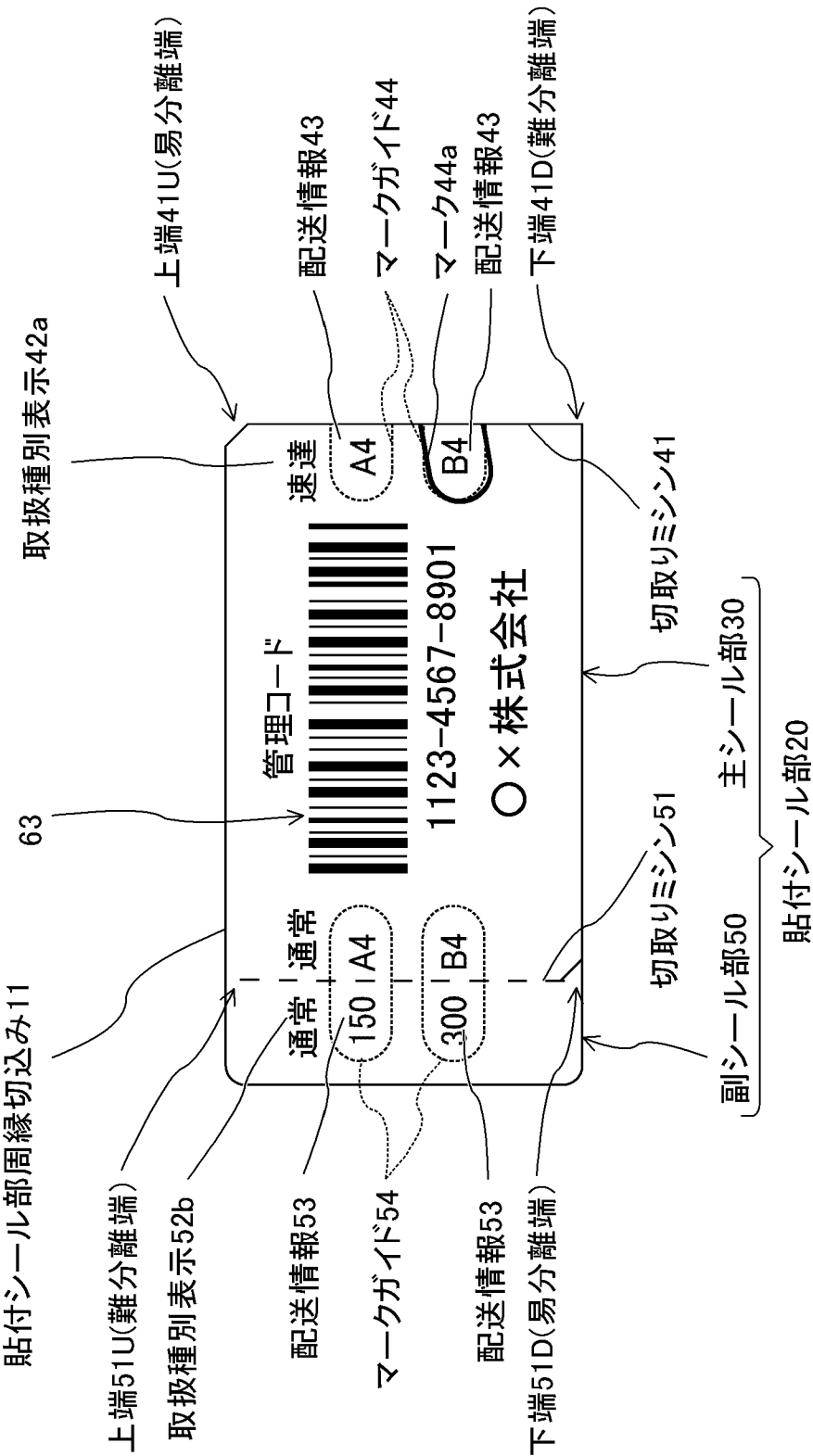
[図2]



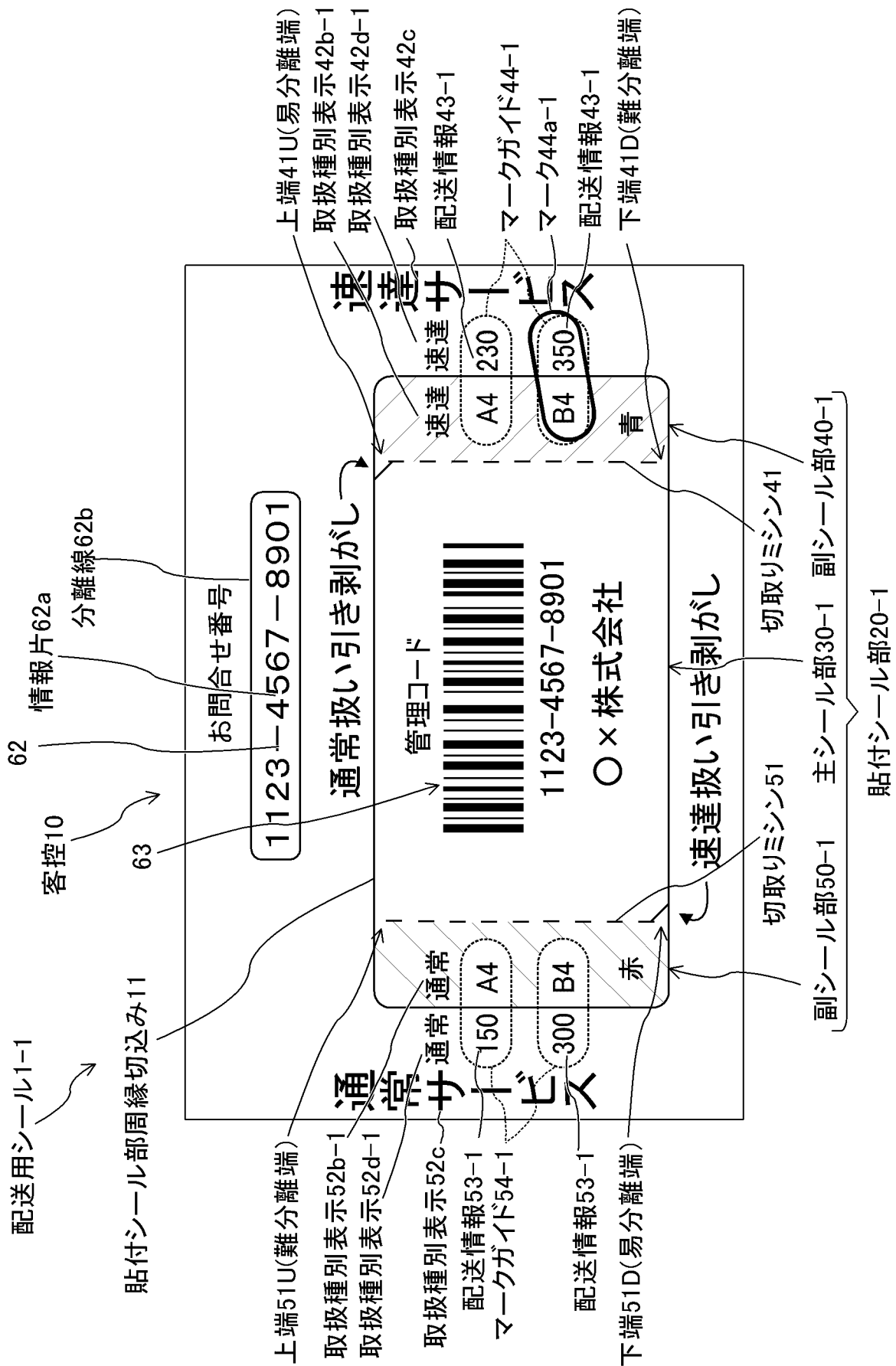
[図3]



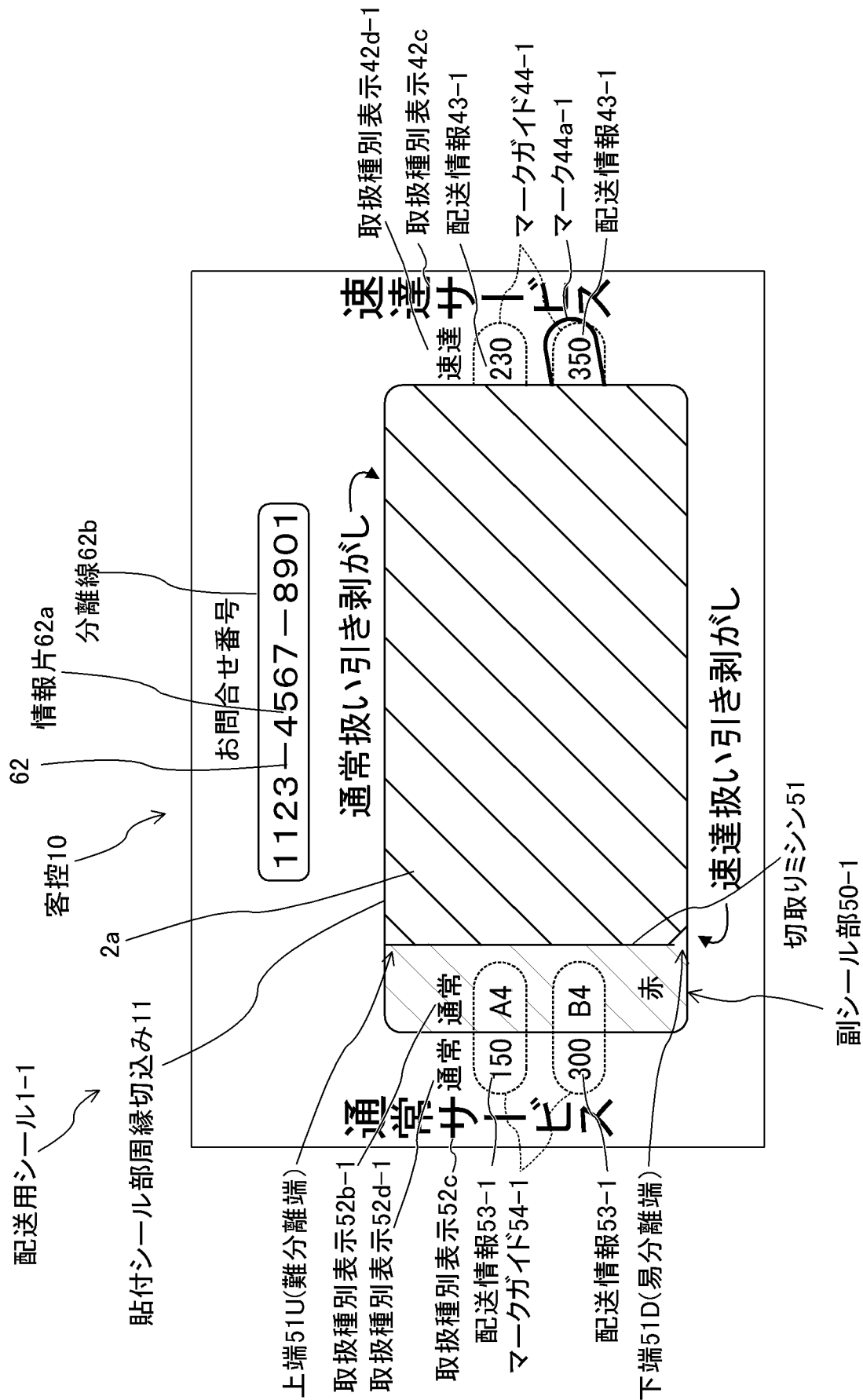
[図4]



[図5]



[図6]



[図7]

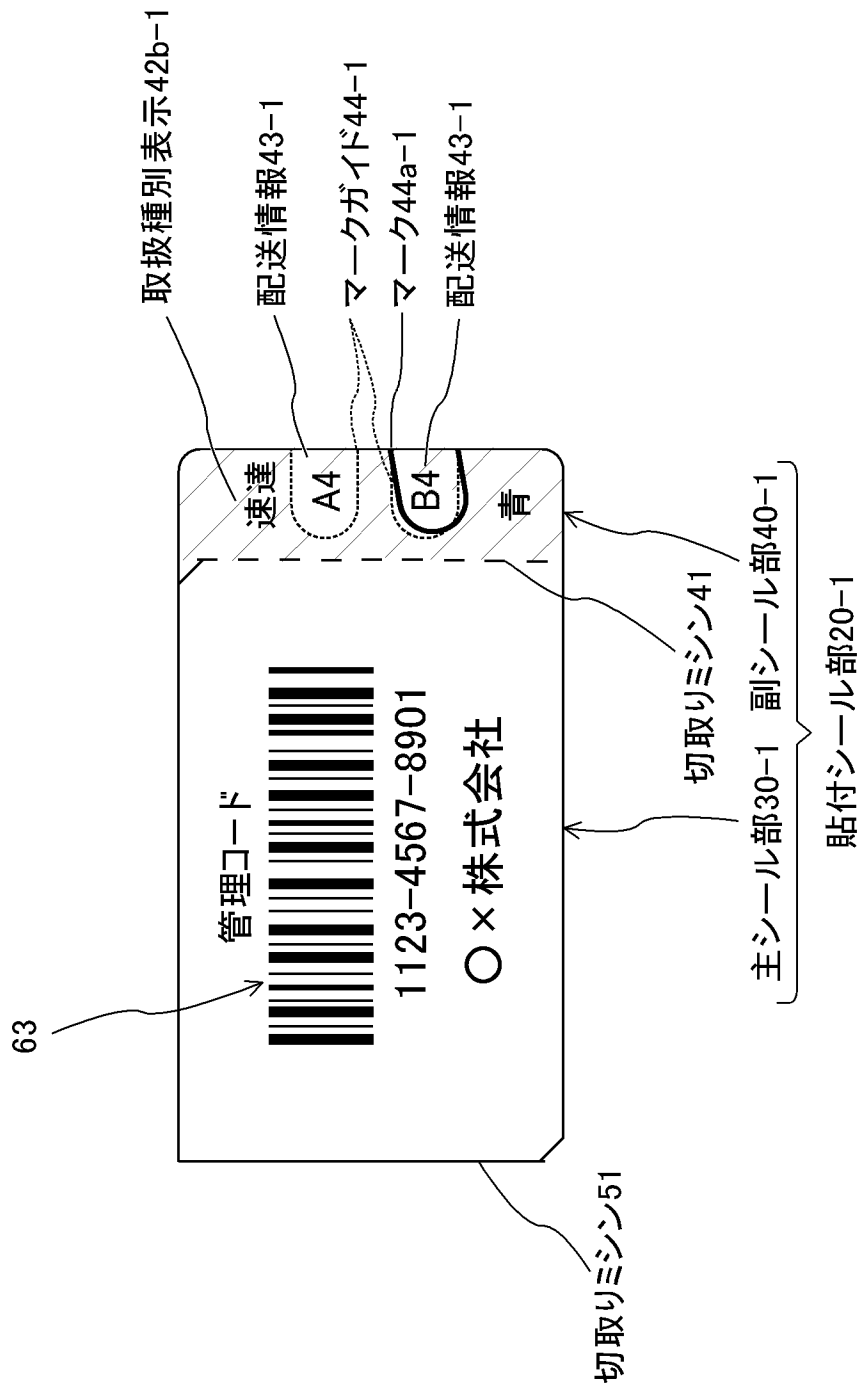
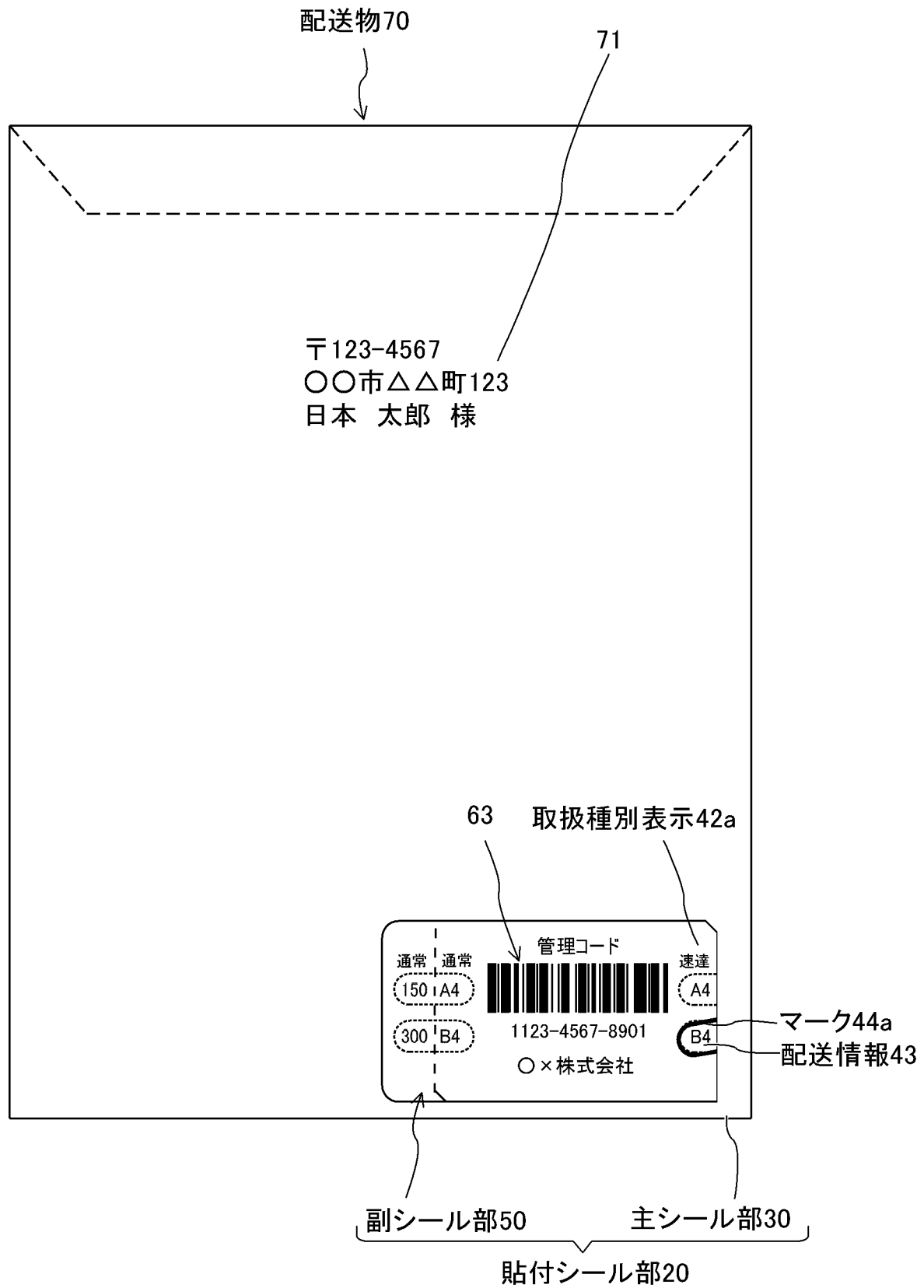


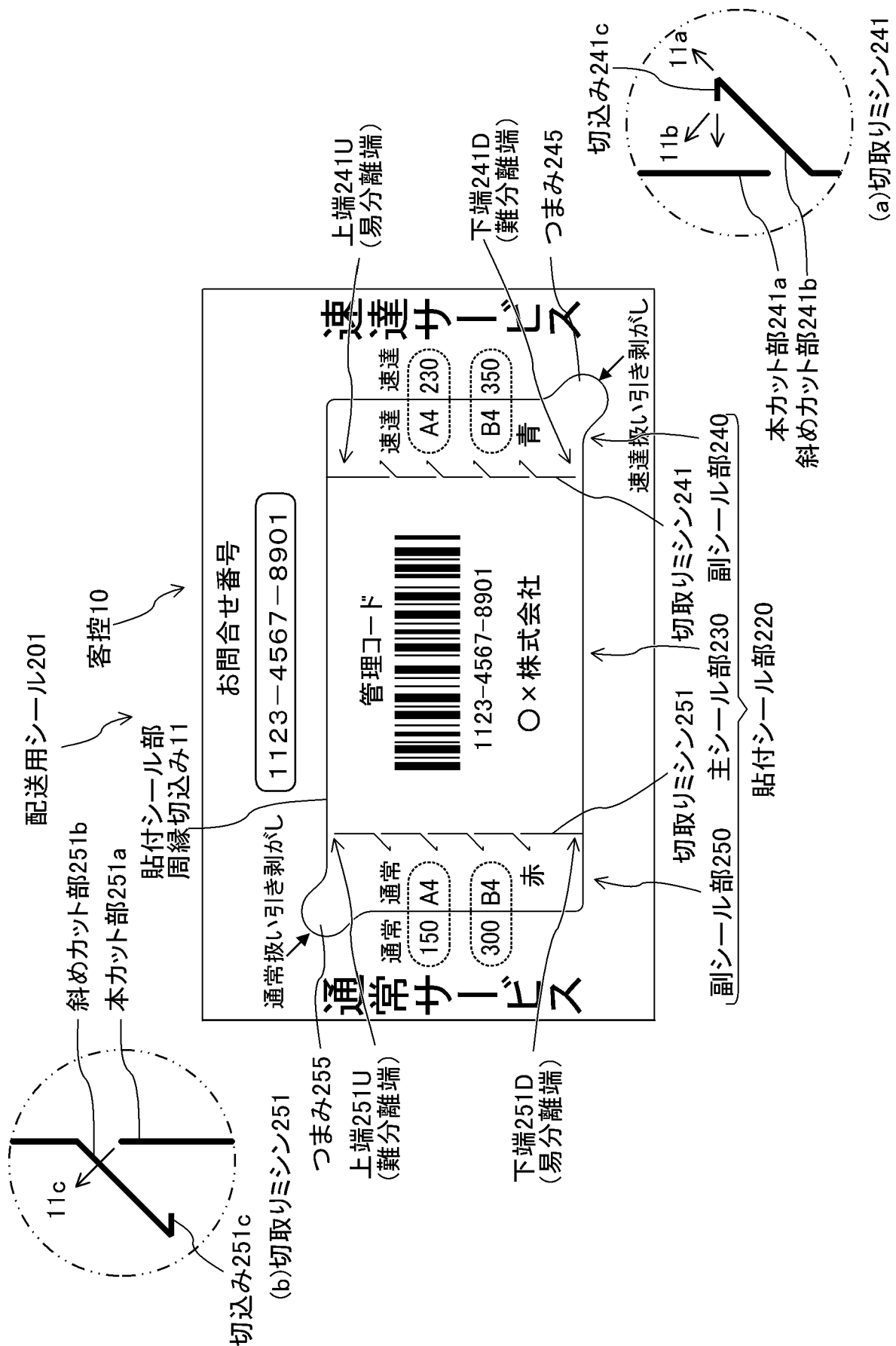
Figure 1 is a schematic diagram of a label 10. The label 10 is divided into a top section 11 (peripheral area) and a bottom section 12 (main area). The top section 11 contains a control area 10a and a peripheral area 11a. The bottom section 12 contains a main area 12a and a peripheral area 12b. The main area 12a is divided into a top part 12a1 (difficult to separate) and a bottom part 12a2 (easy to separate). The peripheral area 12b is divided into a top part 12b1 (difficult to separate) and a bottom part 12b2 (easy to separate). The label 10 is shown with various markings and text, including a barcode, a company name, and a date. The label 10 is shown with various markings and text, including a barcode, a company name, and a date. The label 10 is shown with various markings and text, including a barcode, a company name, and a date.

Figure 1 is a schematic diagram of a label layout. The label is divided into two main sections: **通常サービス** (Standard Service) on the left and **速達サービス** (Express Service) on the right. The **通常サービス** section includes a **客控10** (Customer Control 10) area at the top left, a **貼付シール部周縁切込み11** (Notch in the periphery of the sticker sheet section 11) at the top center, and a **取扱種別表示52a** (Handling type display 52a) at the top right. The **速達サービス** section includes a **取扱種別表示42a** (Handling type display 42a) at the top left, a **速達扱い引き剥がし** (Express handling tear-off) area at the top center, and a **取扱種別表示42b** (Handling type display 42b) at the top right. The central area of the label contains a **管理コード** (Management code) section with a barcode and the text **1123-4567-8901**. Below this is a **配送情報53** (Delivery information 53) section with a **マークガイド54** (Mark guide 54) and a **配送情報53** (Delivery information 53). The bottom of the label features a **貼付シール部20** (Sticker sheet section 20) with a **副シール部50** (Sub-sticker section 50) and a **主シール部30** (Main sticker section 30). The label is also marked with **上端51U(難分離端)** (Top 51U (difficult to separate end)) and **下端51D(易分離端)** (Bottom 51D (easy to separate end)). A dashed circle at the bottom left indicates a **切取りミシン41-3** (Cutting machine 41-3).

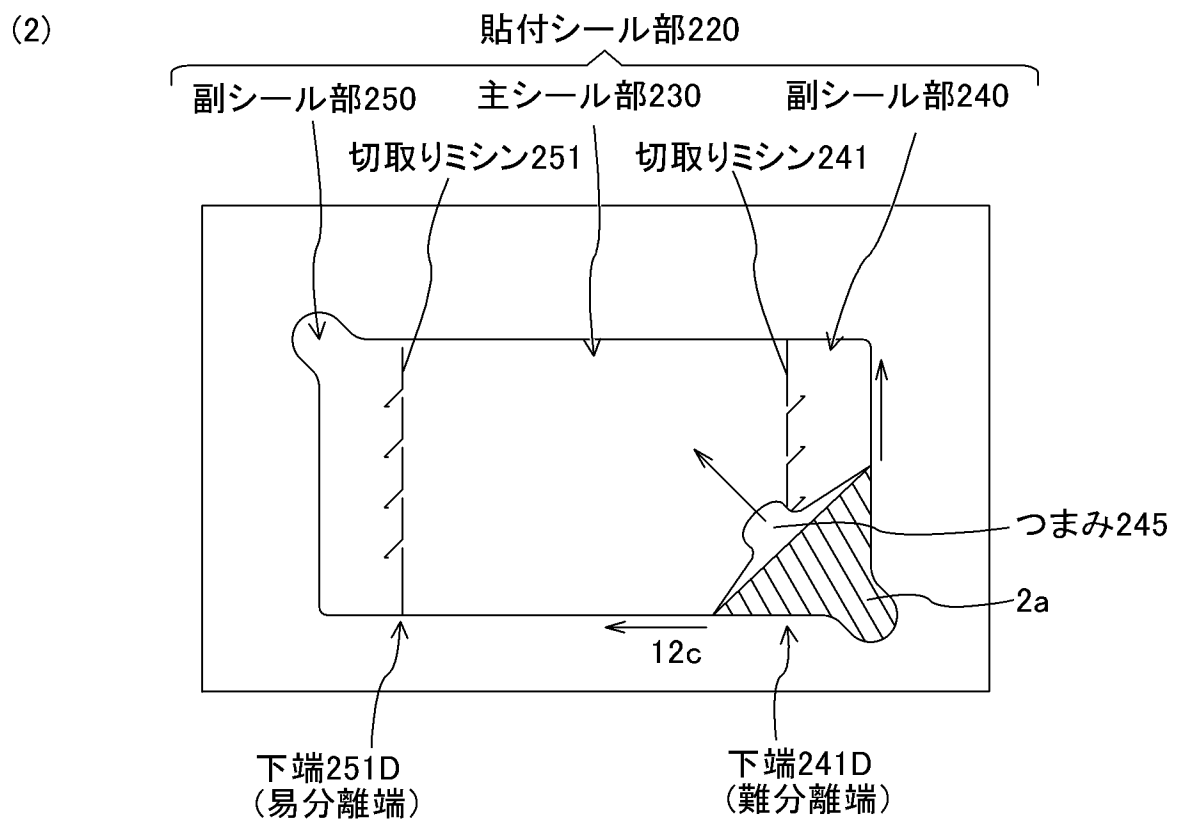
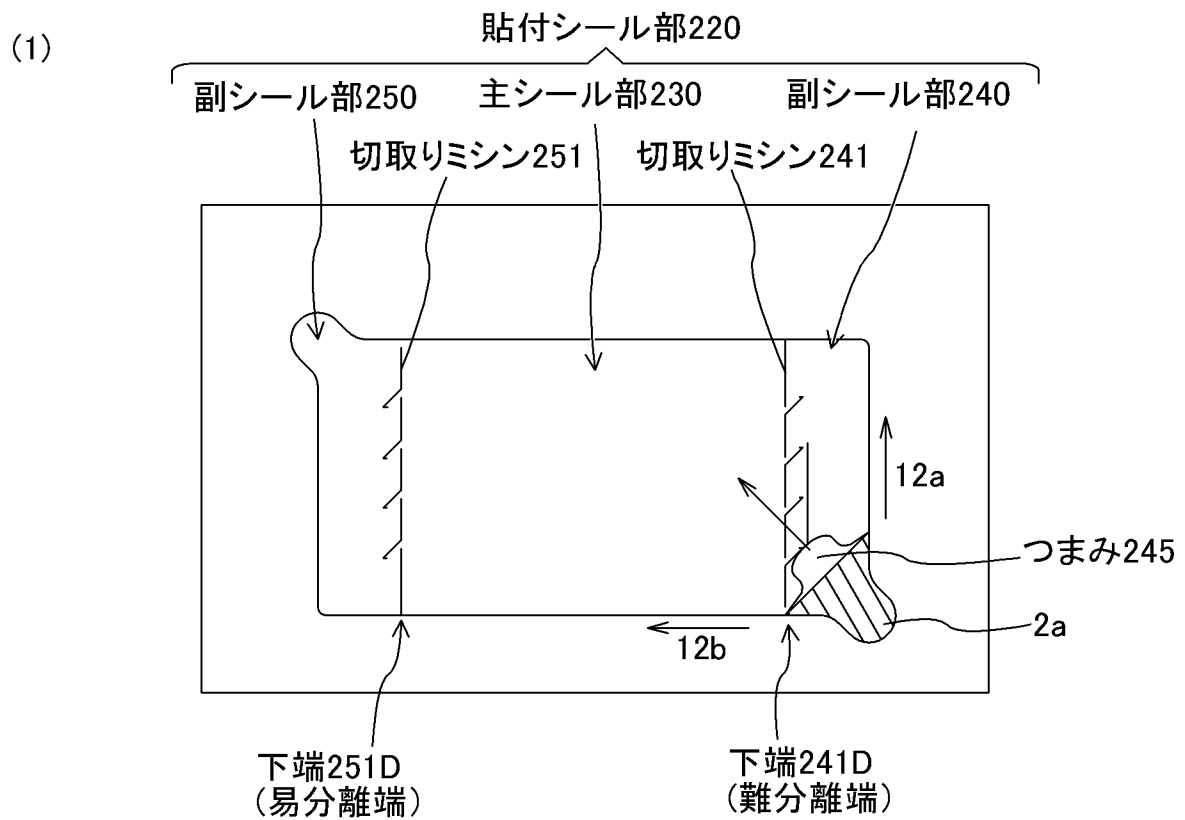
[図10]



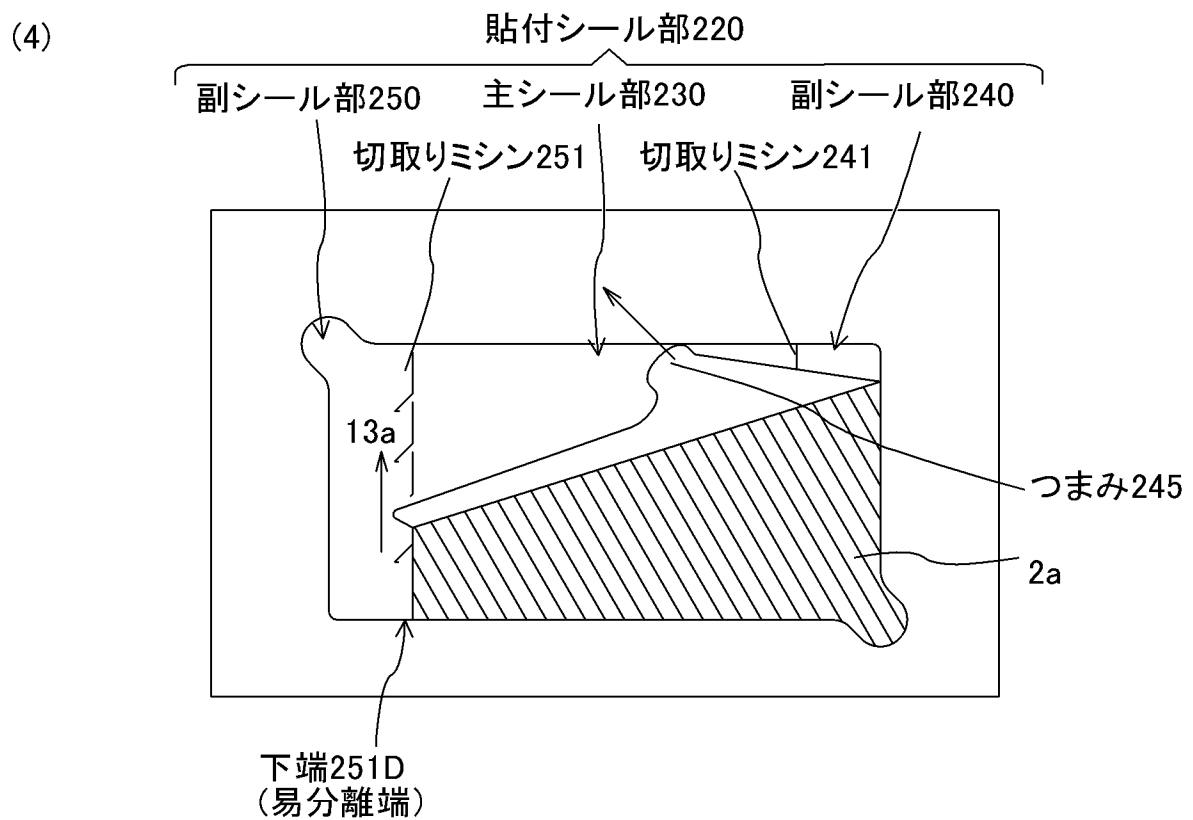
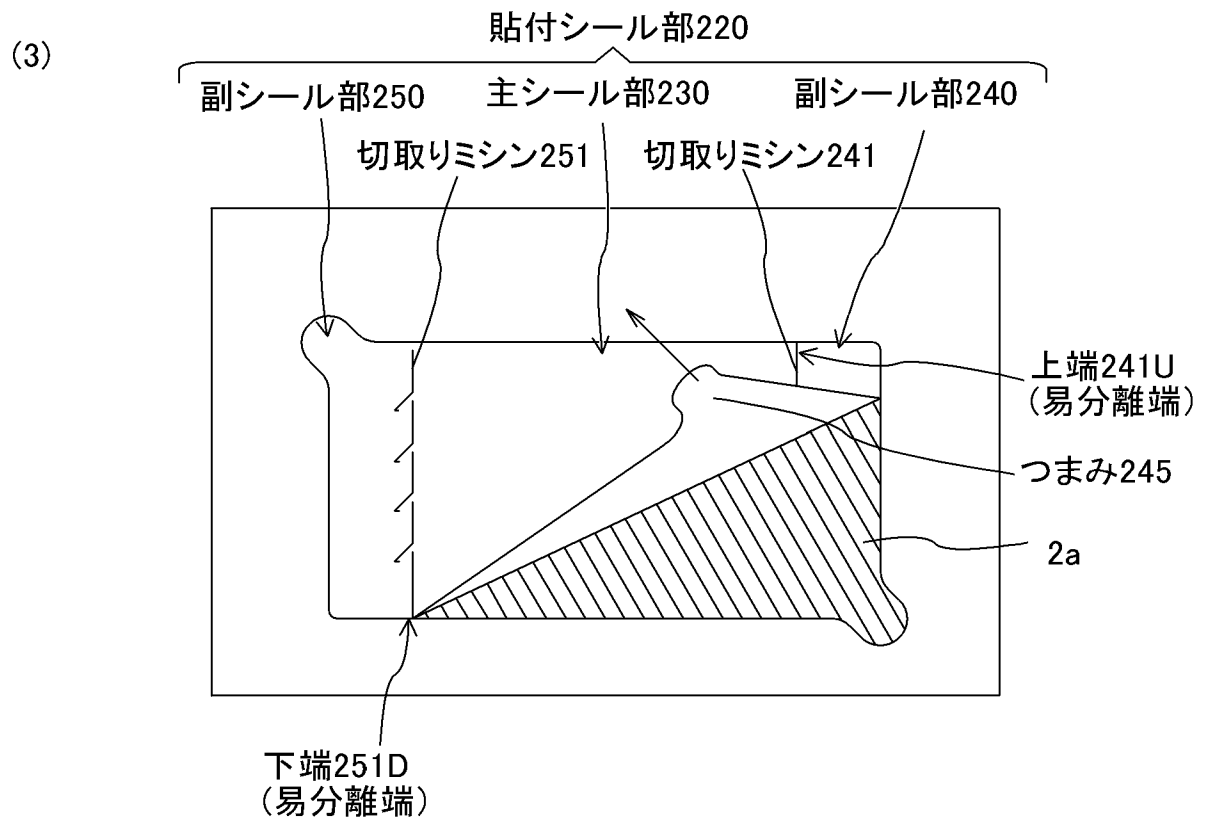
[図11]



[図12]

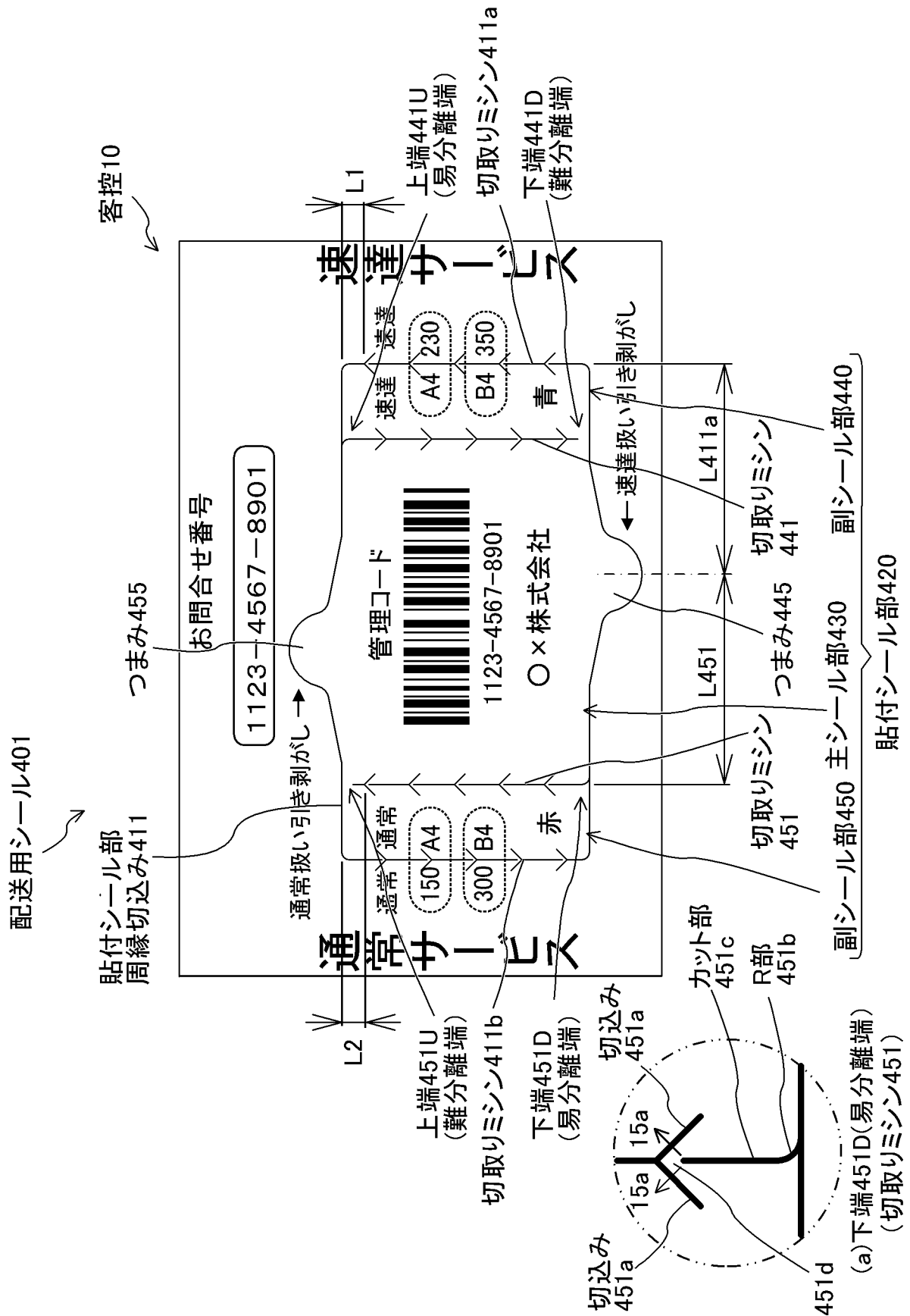


[図13]

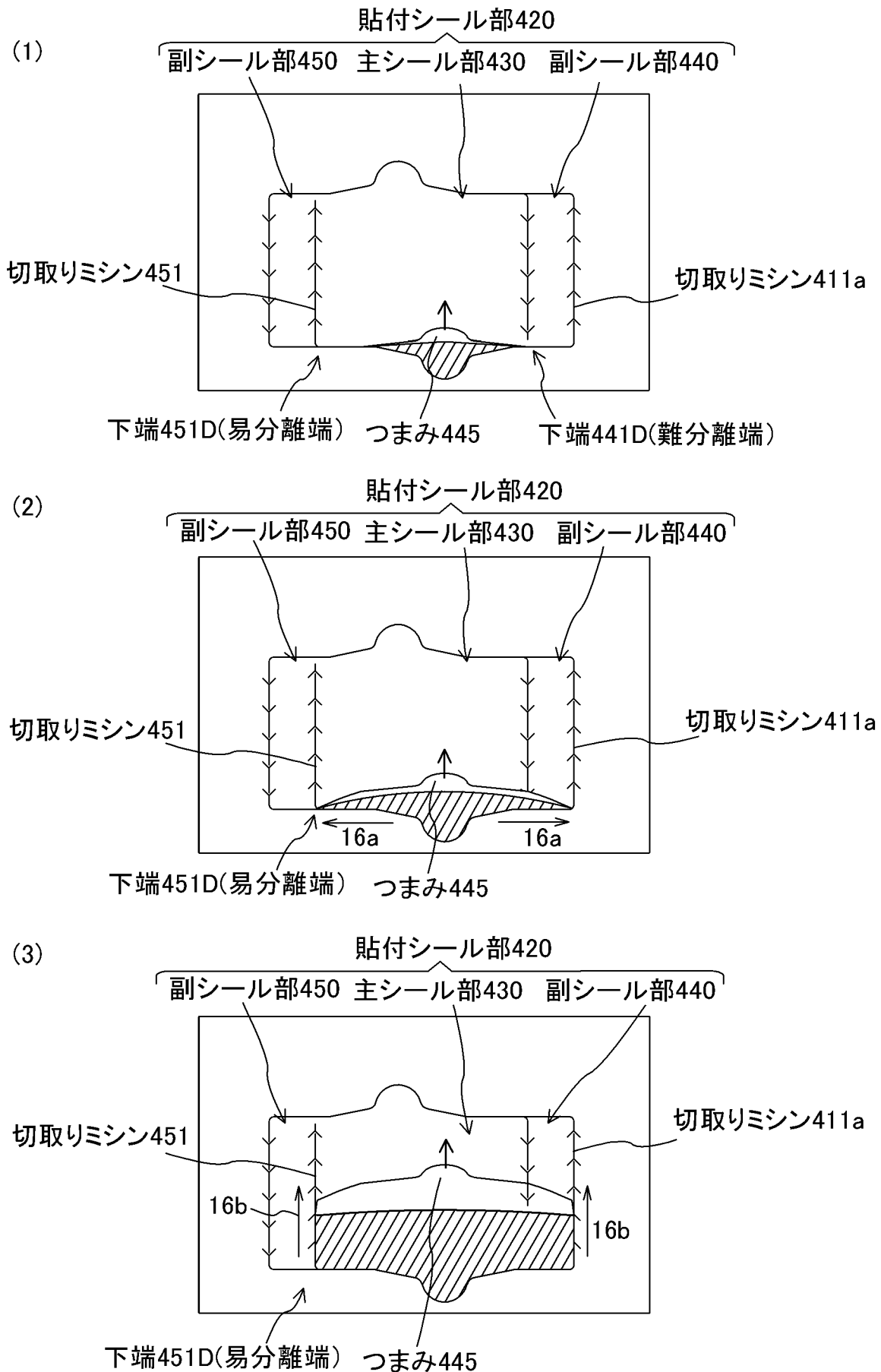


[illegible]

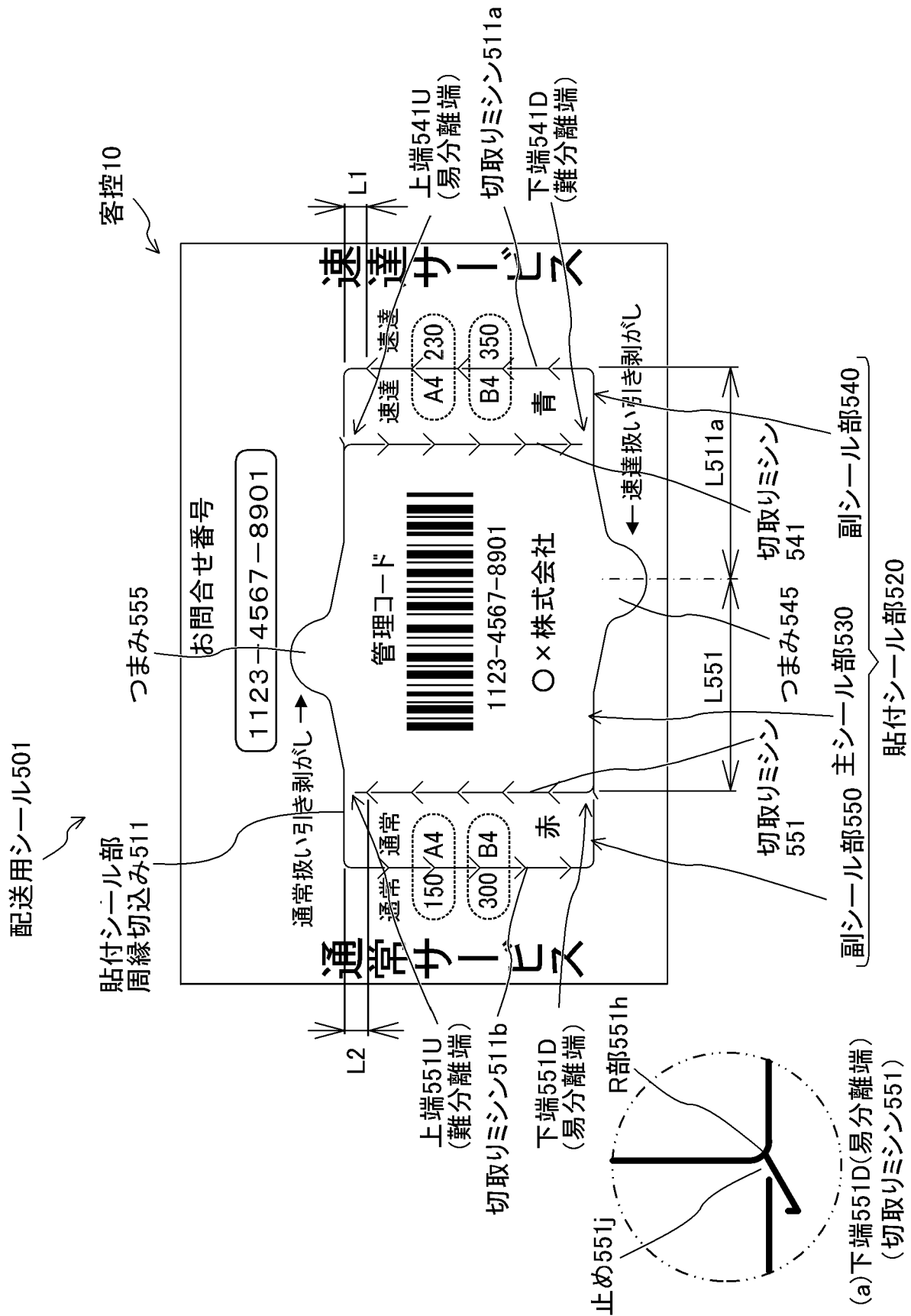
[図15]



[図16]



[図17]



配送用シール601

客控10

取扱種別表示652a

つまみ655

通常扱い引き剥がし

通常サービス

通常 通常

150 A4

300 B4

通常 通常

管理コード

1123-4567-8901

〇×株式会社

速達サービス

速達 速達

A4 230

B4 350

青

速達扱い引き剥がし

上端641U (易分離端)

下端641D (難分離端)

つまみ645

切取りミシン641

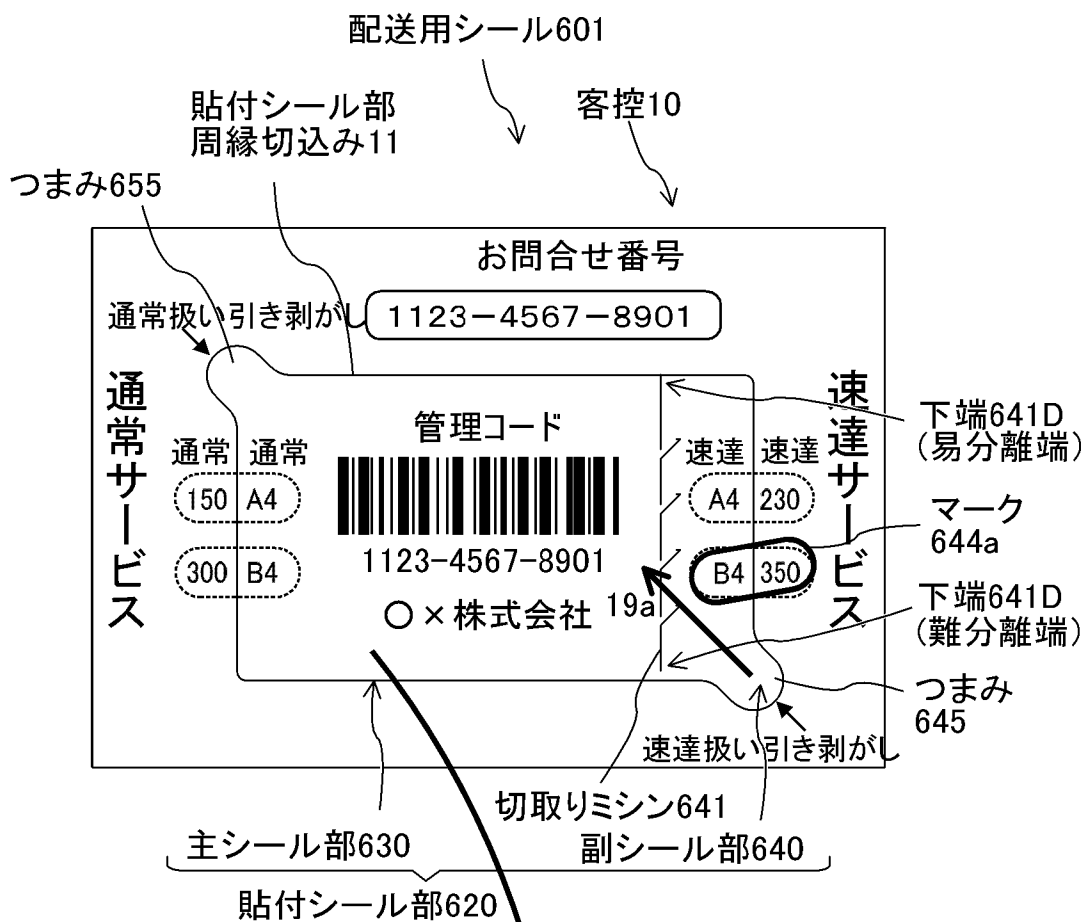
主シール部630

副シール部640

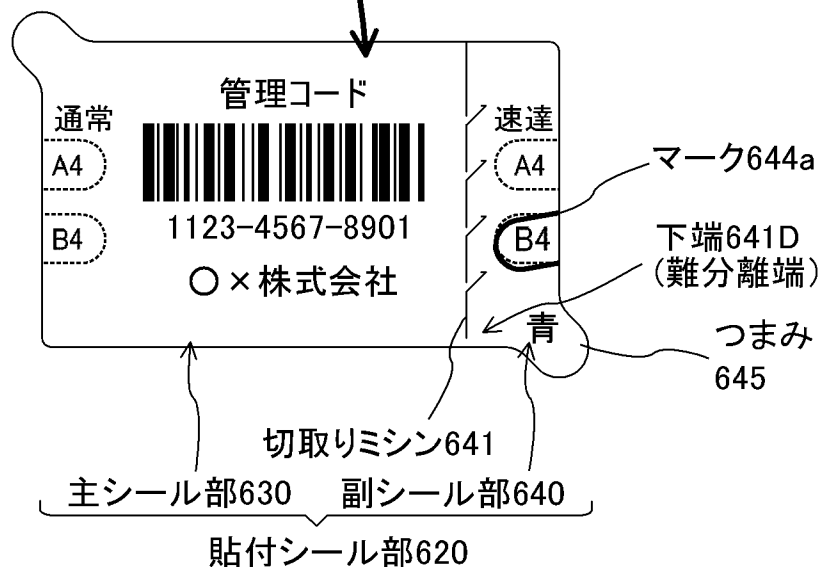
貼付シール部620

[図19]

(a)

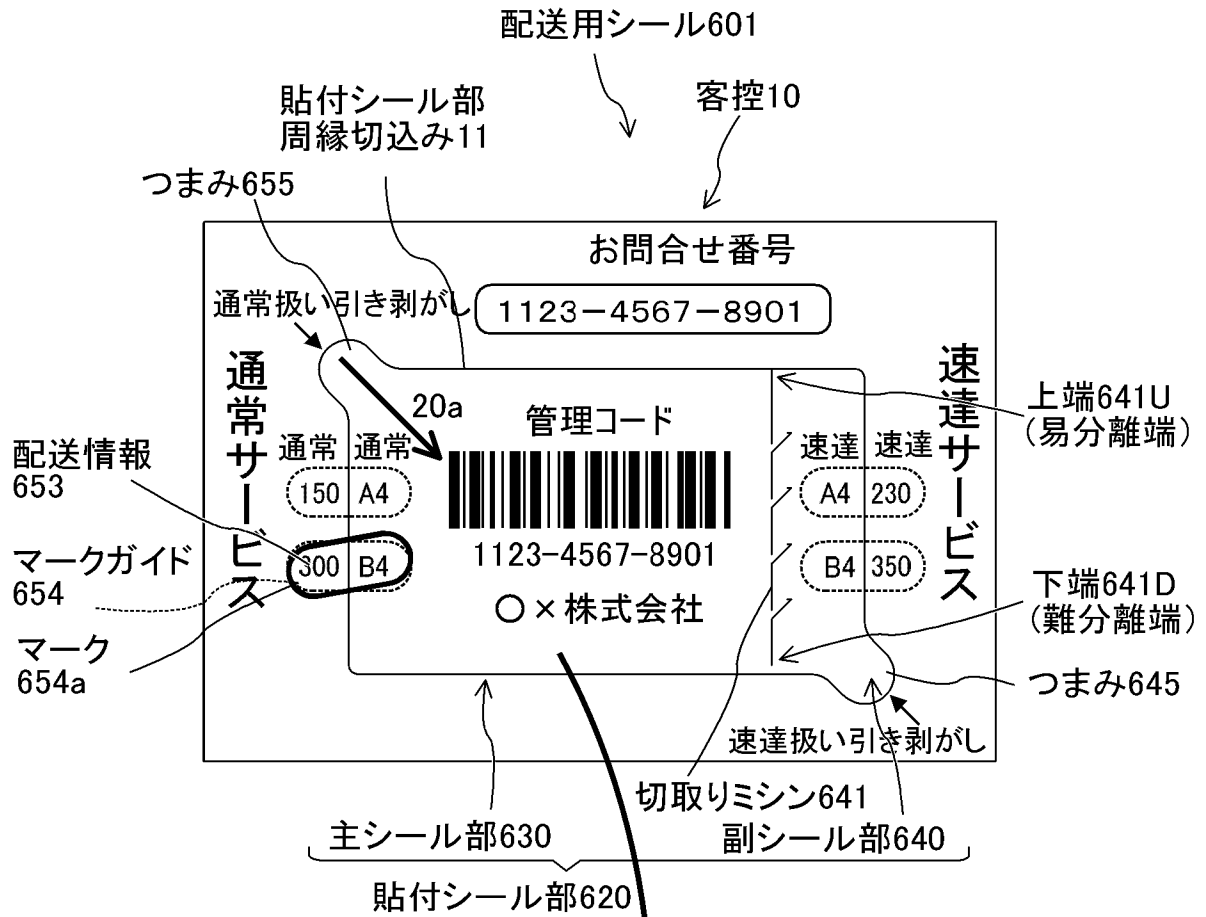


(b)

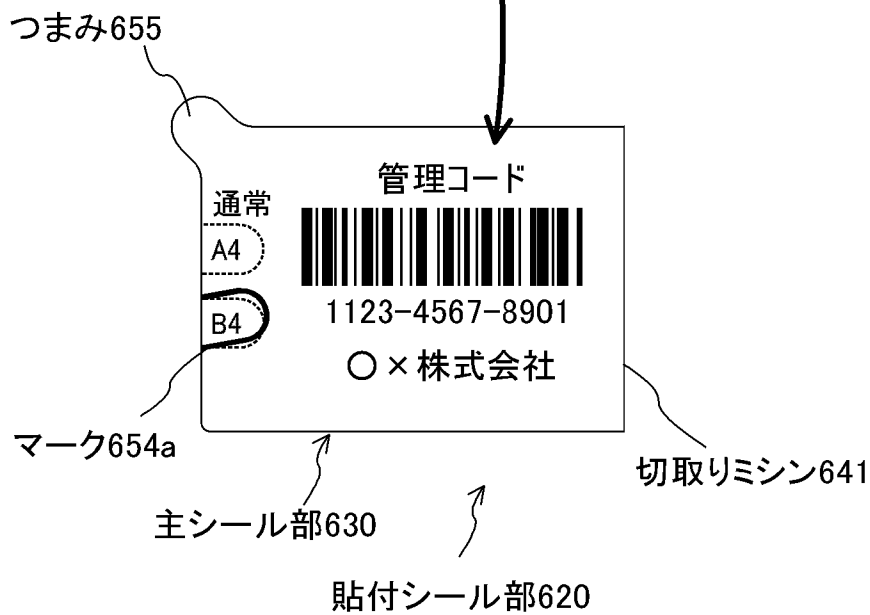


[図20]

(a)



(b)



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/066510

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G09F3/02(2006.01)i, G09F3/00(2006.01)i, G09F3/10(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G09F1/00-5/04, B42D11/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2013
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2013	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2007-199140 A (Kobayashi Kirokushi Co., Ltd.), 09 August 2007 (09.08.2007), paragraphs [0016] to [0034]; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-19
A	JP 11-242439 A (Sato Corp.), 07 September 1999 (07.09.1999), paragraphs [0012] to [0028]; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-19
A	JP 2000-109762 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 18 April 2000 (18.04.2000), paragraphs [0014] to [0019]; fig. 1 to 3 (Family: none)	1-19

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
10 September, 2013 (10.09.13)

Date of mailing of the international search report
24 September, 2013 (24.09.13)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/066510

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 128756/1990 (Laid-open No. 85365/1992) (NEC Corp.), 24 July 1992 (24.07.1992), entire text; all drawings (Family: none)	1-19
E,X	JP 2013-144434 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 25 July 2013 (25.07.2013), entire text; all drawings (Family: none)	1-18
E,X	JP 2013-144435 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 25 July 2013 (25.07.2013), entire text; all drawings (Family: none)	1-19

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G09F3/02(2006.01)i, G09F3/00(2006.01)i, G09F3/10(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G09F1/00-5/04, B42D11/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 3 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 3 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 3 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2007-199140 A（小林記録紙株式会社）2007.08.09, 【0016】 - 【0034】, 図 1-5（ファミリーなし）	1-19
A	JP 11-242439 A（株式会社サトー）1999.09.07, 【0012】 - 【0028】, 図 1-5（ファミリーなし）	1-19
A	JP 2000-109762 A（大日本印刷株式会社）2000.04.18, 【0014】 - 【0019】, 図 1-3（ファミリーなし）	1-19

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 0 . 0 9 . 2 0 1 3

国際調査報告の発送日

2 4 . 0 9 . 2 0 1 3

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官（権限のある職員）

青山 玲理

2 B

4 4 7 5

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	日本国実用新案登録出願 2-128756 号(日本国実用新案登録出願公開 4-85365 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (日本電気株式会社) 1992. 07. 24, 全文全図 (ファミリーなし)	1-19
E, X	JP 2013-144434 A (大日本印刷株式会社) 2013. 07. 25, 全文全図 (ファミリーなし)	1-18
E, X	JP 2013-144435 A (大日本印刷株式会社) 2013. 07. 25, 全文全図 (ファミリーなし)	1-19